

習字
兼用

國民用文

全

82
564

兼習字 國民用文自叙

用文章の需要多き他の書籍
 に比し多く其類と見ず隨
 前發刊するところ實に數
 百種に下らず近來更に行書
 活字と應用して印刷するも
 の亦多々あり然れどもこれ
 と習字に兼用するあたはざ
 る一の欠點といふべし本

明治
 38 10 6
 内交

書ハ木版ヲ利用シテ習字手
 本ト兼ね作文習字二途の實
 用ニ資せんが爲よせるもの
 にて其効益の有無ハ編者が
 多言と要せずして明かある
 べし

編者識

習字 兼用 國民用文目錄

正式四季贈答之部

- 歲始祝賀……………一丁
- 端書用賀狀之式……………三丁
- 寒中見舞……………五丁
- 暑中見舞……………七丁
- 歲暮狀……………八丁
- 四季遊興之部
- 新年宴會ヲ招ク文……………十丁
- 同答……………十一丁
- 觀櫻を催す文……………十二丁
- 同復……………十三丁
- 牡丹を贈る文……………十四丁
- 同返書……………十六丁

- 祭禮ヲ人を招ク文……………十七丁
 - 同答……………十九丁
 - 避暑旅行ヲ誘ふ文……………廿丁
 - 同返翰……………廿二丁
 - 觀月誘引……………廿三丁
 - 同返事……………廿五丁
 - 天長節ヲ招ク……………廿六丁
 - 同回答……………廿八丁
 - 雪戰を催す文……………廿九丁
 - 同回章……………三十丁
 - 忘年會を催す文……………三十二丁
 - 同返事……………三十四丁
- 吉慶祝賀之部

- 婚姻を賀す文……………三十五丁
- 同答……………三十六丁
- 出産を賀す……………三十八丁
- 同答……………三十九丁
- 棟上を祝す……………四十丁
- 同返章……………四十二丁
- 昇進を賀す……………四十三丁
- 返書……………四十五丁
- 歸京の人を賀す……………四十六丁
- 同答……………四十九丁
- 誕生を招く……………五十一丁
- 同復……………五十二丁
- 全快を祝す……………五十三丁
- 同回答……………五十五丁

- 入学を賀す……………五十七丁
 - 同返翰……………五十八丁
 - 卒業を祝す……………六十丁
 - 同答……………六十二丁
 - 壽筵を人を招く……………六十四丁
 - 同答……………六十六丁
- 凶變吊慰之部
- 火災見舞……………六十八丁
 - 同答……………七十丁
 - 水害見舞……………七十三丁
 - 同答……………七十四丁
 - 急病を報す……………七十七丁
 - 同回答……………七十九丁
 - 病氣見舞……………八十丁

- 同答……………八十三丁
- 出水を報す……………八十五丁
- 同答……………八十七丁
- 死者の家を吊ふ……………八十八丁
- 同回答……………九十一丁

營業事務之部

- 物品注文……………九十三丁
- 同答……………九十五丁
- 代價を請求する文……………九十六丁
- 同返事……………九十九丁
- 注文の品を贈る……………百丁
- 同答……………百〇二丁
- 送金通知……………百〇四丁
- 同返章……………百〇五丁

- 賣捌を依頼す……………百〇七丁
- 同返翰……………百〇九丁
- 開業披露……………百十一丁
- 同答……………百十二丁
- 職工を世話する文……………百十五丁
- 同答……………百十七丁
- 組合の集會を催す……………百十八丁
- 同答……………百廿丁
- 工場落成披露……………百廿二丁
- 同答……………百廿四丁
- 組合加入を勧むる……………百廿六丁
- 同答……………百廿九丁
- 見本之交換を申送る……………百三十二丁
- 同答……………百三十四丁

○新製品之披露……………百三十五丁

○同答……………百三十七丁

 日用雑事之部

○文を逢へざる人へ贈る……………百四十丁

○同答……………百四十二丁

○轉居を報す……………百四十五丁

○同答……………百四十六丁

○留守を頼む文……………百四十八丁

○同答……………百五十丁

○佛事へ物を贈る……………百五十一丁

○同答……………百五十二丁

○金子借用を申込む……………百五十三丁

○同返事……………百五十五丁

○届書を依頼する文……………百五十七丁

○同答……………百五十九丁

○旅行を報す……………百六十丁

○同答……………百六十三丁

○人を紹介す……………百六十四丁

○同答……………百六十七丁

○金子を返却す……………百七十丁

○同答……………百七十二丁

○物品を借る……………百七十四丁

○同答……………百七十六丁

○馳走へ預りし禮……………百七十七丁

○同答……………百七十九丁

○物を贈る文……………百八十一丁

○同答……………百八十三丁

○雇人を借る文……………百八十五丁

○同答……………百八十九丁

○仲裁の勞を謝す……………百九十一丁

○同答……………百九十二丁

○奉公人を世話する文……………百九十三丁

○同答……………百九十六丁

○出立を問合す……………百九十八丁

○同答……………二百丁

開國用文頭書目錄

○作文漢語いろは字引……………從九十五丁至九十六丁

○書牘要語……………從九十六丁至百卅五丁

 記事門

○牡丹園之記……………百三十五丁

○蒲澗觀楓之記……………百三十七丁

○新瀟遊園記……………百四十一丁

○舟遊記……………百四十五丁

○折花塚碑記……………百四十七丁

○巖瀆樓記……………百四十九丁

○後園栽梅記……………百五十二丁

○義犬記……………百五十五丁

○魚養記……………百五十七丁

論說門

○中臣鎌足論……………百六十丁

○詩文廢スヘカラサル論……………百六十五丁

○豐太閤論……………百六十九丁

○硯之說……………百七十五丁

○爲學說……………百七十七丁

○蓄蓄說……………百八十一丁

○善を爲スハ最樂シキ説……………百八十二丁
傳 門

○村山佛山傳……………百八十五丁

○東涯伊藤先生傳……………百八十九丁

○阿長傳……………百九十二丁

序題跋門

○留春帖序……………百九十五丁

○練兵式ノ圖ニ題……………百九十七丁

○群旨古器ヲ評スル圖ニ題ス……………百九十八丁

○大統歌跋……………百九十九丁

以上

習字 兼用 國民用文目錄 終

作文漢語字引

(イ、非)之部

- 依々イ、イ ○唯々イ、イ ○或々イ、イ
- 々々イ、イ ○依然イ、イ ○偉績イ、イ
- 悠々イ、イ ○愜々イ、イ
- 怡々イ、イ ○怡然イ、イ ○怡悅イ、イ
- 意表イ、イ ○怡然イ、イ ○意
- 想イ、イ ○慰撫イ、イ ○雄壯イ、イ
- 委任イ、イ ○遊歷イ、イ
- 雄辯イ、イ ○殷々イ、イ ○油
- 々々イ、イ ○滄々イ、イ ○幽閉イ、イ
- 幽囚イ、イ ○因襲イ、イ ○揖
- 禮イ、イ ○九大イ、イ ○允許イ、イ
- 唯諾イ、イ ○夷狄イ、イ ○夷踞イ、イ
- 引卒イ、イ ○尤盛イ、イ

國民用文

正式四季贈答之部

○歲始祝賀

新舊ノ序度サレ出ニ度
納臣金家子梅嬢克

夷然イゼン ○ 圍繞イロウ ○ 綺々キキ
 ○ 輝々キキ ○ 郁々イクク ○ 融通イウツウ ○ 誘導イウダウ
 ○ 維持イジ ○ 邑衙イカ ○ 遺稿イカウ
 ○ 遺忘イワシ ○ 頤使イシ ○ 遺訓イシ
 ○ 遺感イカン ○ 遺訓イシ ○ 由イ
 ○ 違例イ ○ 違例イ
 ○ 慰勞イロウ ○ 慰勞イロウ
 ○ 雄斷イウダン ○ 優恩イウオン
 ○ 悠久イウキウ ○ 優恤イウシツ
 ○ 偉大イブダイ ○ 遺漏イロウ
 ○ 憂懼イウク ○ 訖々イキキ ○ 訖々イキキ
 ○ 融々イウク ○ 遊學イウガク
 ○ 慰解イカイ ○ 有隙イウキ ○ 遊イ

客カク ○ 優劣イウレツ ○ 優渥イウワク
 ○ 憂迫イウハク ○ 形イカガヒ
 ○ 優和イウワ ○ 憂樂イウラク ○ 優イウ
 待タイ ○ 何時イツトキ ○ 以後イツゴ
 ○ 移住イシヂ ○ 一決イツケツ ○ 一イツ
 瑣ソ ○ 一瞬イツシユン ○ 一舉イツキョ
 ○ 一變イツベン ○ 一致イツイツ ○ 一イツ
 一字イツジ ○ 一齊イツサイ ○ 一イツ
 簇ソク ○ 猶豫イウイ ○ 委細イサイ
 ○ 一層イツソウ ○ 輾々テンテン ○ 依イ
 逸イツ ○ 邑々イカカ ○ 依イ
 詭クワイ ○ 位階イカ ○ 咽喉インコウ
 遊獵イウリツ ○ 隱語インゴ ○ 意イ
 志シ ○ 怡韻イオン ○ 鞞イ
 ナルカナン ○ 噫々イウイウ ○ 意想イソウ

以 越 歲 被 遊 幸 甚 賀 候
 榮 履 一 同 幸 甚 異 加 年
 仕 事 皆 順 休 神 主
 祈 願 於 萬 依 以 交 禮
 程 幸 甚 恐 難 於 先 主 之 恩
 如 以 禮 謝 之 及 如 此

以 存 心 謹 言

明治廿一年一月二日

梅村次郎

松田左郎様

瑞書用賀状ニ式

恭賀新年

○ 論究ロンキョウ ○ 老練ロウレン ○ 老練ロウレン ○ 老練ロウレン
 ○ 狼狽ロウタイ ○ 狼籍ロウセキ ○ 狼烟ロウエン
 ○ 露刃ロウジン
 (ハ)之部
 實祚ソク ○ 抱負ボウブ ○ 抱負ボウブ ○ 抱負ボウブ
 運ウン ○ 髮髻ヘツキ ○ 報讐ホウシ
 ○ 陪接バイセツ ○ 陪隨バイズイ
 ○ 緝々シツシツ ○ 防衛ボウエイ ○ 龐ボウ
 ○ 騁々シュウシュウ ○ 徘徊ハクワイ
 ○ 訪訊ホウシン ○ 茫茫マウマウ
 ○ 烹厨ホウチ ○ 報章ホウシヤウ ○ 陪バイ
 ○ 賊ゾク ○ 賊ゾク ○ 夜旼ヤメイ
 ○ 蠻貊マンマク ○ 藩閥ハンハク
 ○ 藩屏ハンペイ ○ 薄倖ハクシヤク ○ 薄ハク
 命メイ ○ 薄暮ハクモ ○ 萌芽ボウケ

堪タ之ハ後ノ空トコロ口マ滿マン堂ダウ所ショ
 如サウ信ケン之レ彼セラ波ワ段ダン也ヤ
 矣ケイ加ガ矣ガ以イ次タク之ク事ジ
 消ヒウ定ク矣マ矣カ矣リ矣アリ
 亦ク以ラ世ケイ輕ケイ矣セウ鴨カモ之ハ羽ハ也ミ
 華マヒ之シ矣シ矣シ矣シ矣シ
 矣ハ矣イ矣テ矣イ

○ 蕃殖ハンシツ ○ 萌芽ボウケ ○ 苞ホウ
 莖セイ ○ 約ヤク ○ 背ハイ面メン
 ○ 繁ハン雜ザツ ○ 實ハク々ク ○ 駭ハク
 般カン々ク ○ 斑ハン々ク ○ 駭ハク
 扈コ ○ 蟠ハン結ケツ ○ 藩ハン牧ボク
 ○ 薄ハク倖シヤク ○ 蕃ハン行コウ
 茫ハン然ゼン ○ 背ハイ盟メイ ○ 翻ハン
 然ゼン ○ 編ハン元ゲン ○ 敗ハイ走ソウ
 暴ボウ發ハツ ○ 汎ハン々ク ○ 沛ハイ
 沛ハイ ○ 暴ボウ學ガク ○ 暴ボウ虐ゲツ
 煩ハン悶モン ○ 發ハツ流リウ
 煩ハン ○ 白ハク冥メイ ○ 稗ハイ史シ
 ○ 暴ボウ露ロ ○ 暴ボウ漢カン
 爆バク裂レツ ○ 暴ボウ威イ ○ 煩ハン
 兀コ ○ 漠ハク々ク ○ 汜ハン々ク

以ヒ矣ウ矣リ矣ク矣ゲ本ホン懷クワ矣イ
 矣イ矣タリ矣ゴ矣ガ矣シ矣ユ頓トン首シユ
 ○ 暴シ中ヨ見キ矣マヒ
 矣キ矣ウ矣ガ矣ハ矣ク矣ラ
 矣ハ矣イ矣ハウ矣マク矣ク矣シ矣ガ矣タ

彷彿ハツクワ ○ 播布ハツブ ○ 牌照ハイシヨ
 ○ 滂沱ハツタ ○ 伴侶ハツリョ
 ○ 般曲ハツキョク ○ 傲傲ハツカウ ○ 傍ハツ
 ○ 胃嫉イシツ ○ 末裔ハツエイ
 波及ハツキツ ○ 罵詈ハツリ ○ 配賦ハイフ
 ○ 履ハツ ○ 掃ハツ ○ 愧ハツ ○ 罰ハツ
 ○ 吐ハツ ○ 祓ハツ ○ 晴ハツ
 憚ハツ ○ 量ハツ ○ 離ハツ ○ 烈ハツ
 ○ 蔓ハツ ○ 掃ハツ ○ 剝ハツ
 ○ 這ハツ ○ 省ハツ ○ 謀ハツ
 孕ハツ ○ 團ハツ ○ 醜ハツ ○ 元ハツ
 ○ 刳ハツ ○ 抉ハツ ○ 馳ハツ
 彈ハツ ○ 腫ハツ ○ 嘲ハツ ○ 妖ハツ
 屬ハツ ○ 遙ハツ
 (三)之部

四季遊興之部

○ 新年宴會シン、ネン、エン、クワイ 招マテ
 蕭落シヨク、ケイ 明日シツ、ニツ 親友シン、イウ 之會ノ、クワイ
 一新シン、ク、エン 夜宴ヨ、エン 之會ノ、クワイ
 月ツキ 夜宴ヨ、エン 之會ノ、クワイ 招マテ
 一時イツ、ジツ 車クルマ 後ノチ 度タビ

任職ニンシヨク ○ 任選ニンセン ○ 肉ニク
 薄ハツ ○ 入款ニツカン ○ 二暨ニ、キョウ
 ○ 柔弱ニツヨク ○ 及傷ニツキヲウ
 二倫ニ、リン ○ 忍笑ニンシヨウ ○ 任ニン
 換カヘ ○ 任命ニンメイ ○ 日課ニツコウ ○ 任ニン
 ○ 妊娠コジン ○ 入籍ニツケキ
 入寇ニツコウ ○ 日輪ニツリン ○ 入獄ニツゴク
 似ニ ○ 似ニ ○ 似ニ ○ 似ニ
 握ニグ ○ 逃ニグ ○ 鈍ニグ
 (ホ)之部
 保釋ホシヤク ○ 補闕ホクケツ ○ 補ホ
 弼ホ ○ 沒取ボツキョ ○ 撲滅ボツメツ
 ○ 奔馳ホンシ ○ 勃興ボツキョウ
 勃然ボツゼン ○ 俸給ホウキョウ ○ 蜂起ホウキ

新シン 年ネン 宴エン 會クワイ 招マテ
 蕭シヨク 落ケイ 明シツ 日ニツ 親シン 友イウ 之ノ 會クワイ
 一イツ 新シン 夜ヨ 宴エン 之ノ 會クワイ
 月ツキ 夜ヨ 宴エン 之ノ 會クワイ 招マテ
 一イツ 時ジツ 車クルマ 後ノチ 度タビ

○ 謀略ホウリヤク ○ 補充ホウチヨク ○ 捕虜ホウリョ
 ○ 勸如ホウニョ ○ 補虜ホウリョ
 ○ 稔々ホウニョ ○ 奉々ホウニョ ○
 保險ホウケン ○ 奉戴ホウタイ ○ 豐稜ホウレイ
 子ホウ ○ 奉迎ホウエイ ○ 匍匐ホフフク
 ○ 卜筮ホウシ ○ 凡俗ホウソク ○ 本
 復ホフ ○ 凡才ホウサイ ○ 凡庸ホウヨウ
 ○ 補修ホフシウ ○ 本資ホンシ ○ 奉
 仕ホシ ○ 牧畜ボクシヨク ○ 梵刹ハンシャツ
 ○ 木訥ボクダツ ○ 暴慢ボウマン ○ 壘ロウ
 跡セキ ○ 没落ボツラク ○ 鋒刃ホウジン
 ○ 煩腦ハンノウ ○ 鋒銳ホウスイ ○
 詩策シサク ○ 封土ホウツ ○ 乏ボク
 絶ツツ ○ 保守ホウシ ○ 捕縛ホフバク
 ○ 保存ホウザン ○ 益裁エキサイ ○ 發端ハツタン

竹多派チクタハ

親楊シンヤウを僅すモヨブ

朝来快晴テウライクワイセイの郊外カウガイを喜シヤウ

色慾シヨクオモひやらふヒヤラフは口業クシヤク的ゲシキ

観楊クワンヤウお催アヒモヨブ度ジシヤウは度サシツカ

令園レイケンは自伴ドウバンを

以ミヤウテウ於セツタク拙セツタクをライガとレ

度タクミギ者シカフは都会ウカイを自伴ハイ

甲カウ子シ五日イチニチ 相田生サウテン

瀧川タニガハ見ミ足タ

復フク

芳翰ハウカンお海ハイセウを思オモヒ口僅モヨフシ

○ 發起ハツキ ○ 放逸ホウイツ ○ 統コロ
 ○ 吼コ ○ 嗥コ ○ 殆ト
 施ホシ ○ 讚ホメ ○ 誇ホコ ○ 滅ホク
 普ホク ○ 期ホカ ○ 葬ホム ○ 惚ホク
 ○ 罷ホク
 (ハ)之部
 變更ヘンカ ○ 彌ヘン小コ ○
 聘禮ヘイレイ ○ 炳然ヘンゼン ○ 弊風ヘイフウ
 均ヘン ○ 兵機ヘイキ ○ 併吞ヘイタン
 偏境ヘンケイ ○ 平日ヘンニチ ○ 平
 均ヘン ○ 平素ヘンソ ○ 平凡ヘンバン
 ○ 偏險ヘンケン ○ 偏阪ヘンハン ○ 兵
 變ヘン ○ 弊衣ヘイイ ○ 翻ヘン
 作ヘイ ○ 弊々ヘイヘイ ○ 怍ヘイ
 ○ 勝ヘイ石シ ○ 變換ヘンカン ○

芳翰ハウカンお海ハイセウを思オモヒ口僅モヨフシ
 瀧川タニガハ見ミ足タ
 復フク
 度者タクミギは都会ウカイを自伴ハイ
 甲子カウシ五日イチニチ 相田生サウテン
 以於ミヤウテウ拙セツタクをライガとレ
 色慾シヨクオモひやらふヒヤラフは口業クシヤク的ゲシキ
 朝来快晴テウライクワイセイの郊外カウガイを喜シヤウ
 親楊シンヤウを僅モヨブす
 竹多派チクタハ

變遷(ヘンゲン)カワリ ○僻論(ヘキロン)ヒソカニ ○蔽(ヘイ)シヤ
遮(シヤ)トヘ ○駢比(ヘンヒ)ツテ ○辟易(ヘキイ)ハリツ
駢死(ヘンシ)ツナフ ○幣帛(ヘイボク)ツナヘ ○炳々(ヘイ)ツク
ヲカキ ○縹々(ヘン)ツカハレ ○黝々(ウシウ)ツク
○革々(カク)ツク ○藐々(マウ)ツク
平和(ヘイワ)ツク ○平常(ヘイジョウ)ツク ○別筵(ベツデン)ツク
○別筵(ベツデン)ツク ○偏見(ヘンケン)ツク
偏頗(ヘンパン)ツク ○偏固(ヘンコ)ツク ○變幻(ヘンカン)ツク ○便
倭(ヘイ)ツク ○辯解(ベンゲイ)ツク ○井舞(イノリ)ツク
約(ヨク)ツク ○變革(ベンカク)ツク ○便宜(ヘンイ)ツク
○辨償(ベンジョウ)ツク ○眇漠(ミョウボク)ツク ○賤
論(レン)ツク ○閉居(ヘイキョ)ツク ○霹靂(ヘキレキ)ツク
○辟裂(ヘキレツ)ツク ○貶秩(ヘンシツ)ツク ○並
進(シン)ツク ○眇々(ミョウ)ツク ○表裝(ヘイジョウ)ツク
○邛々(クワン)ツク ○鑢々(ソウ)ツク ○鑢々(ソウ)ツク

少(イウ)クハシクニシヨクニモヨクハシクニシ
幸(イハ)ハシクニシヨクニモヨクハシクニシ
幸(イハ)ハシクニシヨクニモヨクハシクニシ
幸(イハ)ハシクニシヨクニモヨクハシクニシ
幸(イハ)ハシクニシヨクニモヨクハシクニシ
○女子(コノメ)と賜(オク)と又(マタ)

○馳々(シシ)ツク ○平臥(ヘイフイ)ツク ○平易(ヘイイ)ツク
○平愈(ヘイユ)ツク ○詔(シウ)ツク ○隔(カク)ツク
○歷(レイ)ツク ○減(ケン)ツク ○謙(ケン)ツク
(下)之部
徒勞(トロウ)ツク ○徒行(トコウ)ツク ○徒然(トゼン)ツク
○塗滅(トウメツ)ツク ○凍餒(ドウノウ)ツク ○同僚(ドウレウ)ツク
○僮僕(ドウボク)ツク ○度景(ドウキョウ)ツク ○徒黨(トトウ)ツク
○徒跣(トゼン)ツク ○凍死(ドウシ)ツク ○
屯駐(トンシュ)ツク ○渡航(ドウカウ)ツク ○同志(ドウジ)ツク
○努力(ドクリツ)ツク ○突如(トツヂウ)ツク ○
塗々(トウ)ツク ○幢々(チュウ)ツク ○督促(トツク)ツク
○統一(トウイツ)ツク ○騰貴(トウキ)ツク
○遁逃(トントン)ツク ○湯々(トウ)ツク
洞々(トウ)ツク ○得失(トクシツ)ツク ○德澤(トクタク)ツク
○統轄(トウカツ)ツク ○騰翕(トウセツ)ツク ○督(トク)ツク

庭園(テイエン)ニ牡丹(ボタン)花(ハナ)夜(ヨ)時(トキ)令(シヨウ)
猶(ナカ)色(シヨク)をまきまきと来(キタ)り令(シヨウ)
枝(エダ)は夜(ヨ)を借(カヤウ)し甲(コウ)は
本年(ホンネン)に風(キ)候(コウ)に雁(フジコン)之(ノ)居(タメ)
何(ナニ)の者(モノ)かひとひと口(カウ)一(イツ)見(ミ)
空(ソラ)を浮(ウキ)がまきまきと居(タメ)

○注目^{チカボク} ○忠誠^{チウヂン} ○忠
 誠^セ ○寵遇^{チウウ} ○地勢^{チセイ} ○重
 任^{チウジン} ○重典^{チウテン} ○偷目^{チウモク} ○重
 情^{チウジヤウ} ○痴^チ ○逐々^{チクタク} ○痴
 ○運々^{チンチン} ○沈溺^{チンニキ} ○沈
 吟^{チンギン} ○沈黙^{チンモク} ○駐在^{チウザイ}
 ○燒殺^{チウキヤク} ○陳言^{チンゲン} ○沈淪^{チンリン}
 ○沈浮^{チンフ} ○沈沒^{チンボツ} ○沈
 沈^{チンチン} ○沈思^{チンシ} ○馳驅^{チキキョ} ○墊々^{チキキョ}
 ○伸々^{チンチン} ○伸々^{チンチン} ○徐々^{チウチウ}
 ○徐徐^{チウチウ} ○注射^{チウシヤク} ○著
 ○着手^{チウシヤク} ○着色^{チウシヤク} ○著
 居^キ ○著武^{チウブ} ○貯蓄^{チウキョク}

明^{メイ}の及^ゴは當^{タウ}お^ン法^{チン}
 守^{シユ}ハ極^{ヤサカ}神^{シン}社^{シヤ}ヲ極^{サイ}神^{レイ}
 傳^{レイ}自^{ホリ}神^ガ樂^グ盤^ヤ子^シま^シ人^{シロウ}
 相^カ模^マ倣^フ等^{トウ}之^{トウ}付^レ以^レ全^{ソク}息^ム
 同^{ドウ}伴^{バン}一^{クニ}ノク^{ニキ}ク^ニ遊^{ユウ}
 來^{ライ}及^{マチ}及^{サウ}及^ミ及^ミ及^ミ

○饋餽^{ケイケン} ○運速^{ウンソク} ○冲
 々^{チキチキ} ○遲鈍^{チウドン} ○鎮壓^{チンアツ}
 ○長嘯^{チヤウセン} ○陳列^{チンレイ}
 秩^{チキ} ○着眼^{チウケン} ○著明^{チウメイ}
 貯^チ ○蛩駘^{チウタイ} ○蟄伏^{チキツ}
 貯^チ ○顛顛^{チンテン} ○運緩^{ウンケン}
 ○遲延^{チウエン} ○鎮撫^{チンブ} ○長
 驅^{キョ} ○長嘆^{チヤウタン} ○陳情^{チンジヤウ}
 ○陳腐^{チンフ} ○忠直^{チウヂク}
 沈^{チン} ○沈醉^{チンズイ} ○沈勇^{チンユウ}
 ○長逝^{チヤウシ} ○中涓^{チウケン}
 中^{チウ} ○中毒^{チウドク} ○致命^{チウメイ}
 ○重復^{チウフク} ○致聲^{チウセイ} ○致
 仕^シ ○儲君^{チヨクン} ○直諫^{チウケン}
 ○懲懼^{チョウク} ○抽籤^{チウケン}

○答
 祭^{サイ}禮^{レイ}付^フ口^コ招^{セウ}狀^{ジヤウ}賜^{タマ}り
 拜^{ハイ}祈^{シヤ}祈^{シヤ}祈^{シヤ}祈^{シヤ}祈^{シヤ}
 安^ト安^コ安^ロ安^ロ安^ロ安^ロ安^ロ安^ロ
 後^{シク}ハカ^コ取^ヤ符^ト思^シ思^シ思^シ思^シ思^シ
 今^{カイ}今^{サシ}今^{ツカ}今^ハ今^{セウ}今^レ今^イ
 今^{シヤウ}

運滯コトナキ ○ 徵納ミヤシオ ○ 懲戒ヲ
 シム ○ 透電スルコト ○ 註疏トキア
 ○ 耻辱ハ ○ 緒言ハトクシ ○ 調整ハ
 ン ○ 嫡男トシテ ○ 誅戮セメコ
 ○ 黜陟トナシ ○ 嘲弄ワラフ ○ 喋
 ヲコト ○ 躊躇ヲフ ○ 中庸トシ
 什物モ ○ 散ル ○ 運シ ○ 親シ
 ○ 誓 ○ 因 ○ 縮 ○ 鏡 ム
 (リ)之部
 輪直バン ○ 良士トシテ ○ 良策
 ヲカ ○ 流連ツク ○ 流落レルナ
 流言行 ○ 旅舎ニハ ○ 亮察ト
 ○ 理想カシガ ○ 流布トシ
 ○ 流窟ニシテ ○ 兩端ニハ
 兩般カ ○ 卒々カ ○ 涼々トシ

午与お趨下行百右候
 只今一丁の且決して是様
 被下更候は段行りト見
 以謝ア上其下陸謝
 避暑旅の流系
 實熱日かり候事ト例

ト ○ 懐々シム ○ 懐々トシム ○ 利
 用 ○ 利鈍トナキ ○ 履行トナフ
 ○ 諒察ナシ ○ 臨時トシム ○ 稟
 告トシテ ○ 稟性トナシ ○ 陸續トシキ
 ○ 惻々フル ○ 寥々トシ ○ 隆替
 ○ 陵夷トシ ○ 里耳トナシ
 ○ 俚諺トナシ ○ 粟々トシ ○ 淋々ト
 ン ○ 陵辱トナシ ○ 隆興トナ
 ○ 闊巷トナシ ○ 吝嗇トナシ
 稟賦トナシ ○ 瀾々トシ ○ 履歷
 ○ 稜々トシ ○ 輾轉トナシ ○ 利器トナシ
 ○ 稜々トシ ○ 磷々トシ ○ 膠々ト
 利發トシ ○ 旅次トナシ ○ 良媒トナシ

身通にお根と懸り申
 度地好伴侶トナシ
 月日遊下候事ト旅中
 手毎御事耐候事ト古書
 玉子居る否式ト一報
 幸行候事ト

厚シイニ ○ 温飽ヲシメニ ○ 温雅ニシテ
 ○ 旺々ニシテ ○ 煇然ニシテ ○ 殞
 没ナカニ ○ 怨念ヲモテ ○ 押領スル
 鳴咽シテ ○ 追フ ○ 負フ ○ 衰
 へ ○ 卑り ○ 興ル ○ 起ル ○ 喚
 ク ○ 墮ル ○ 措ク ○ 織ル ○ 惜
 ム ○ 劣ル ○ 躍ル ○ 遷シ ○ 奢
 ○ 騙 ○ 捉 ○ 想フ ○ 願フ ○ 收
 ム ○ 泳ク ○ 侵ス ○ 犯ス ○ 覆
 ヲ ○ 蔽フ ○ 佩ル ○ 陥ル ○ 佈
 ル ○ 懼ル ○ 駭シ ○ 惟 ○ 廢ル
 ○ 補フ ○ 愕ク ○ 惶ル ○ 悛ム
 (ワ)之部
 旺盛ニシテ ○ 猥褻ニシテ ○ 往々
 ○ 往者ニシテ ○ 横行ニシテ ○ 注

今夕中於月夜
 之月補有存新案
 之真様之親月之宮
 相續及之支障
 今夕中於月夜
 之月補有存新案
 之真様之親月之宮
 相續及之支障
 今夕中於月夜
 之月補有存新案
 之真様之親月之宮
 相續及之支障

注 ○ 殃災ニシテ ○ 和議ニシテ
 ○ 和親ニシテ ○ 決々ニシテ ○ 和衷
 ○ 横逆ニシテ ○ 横議ニシテ
 ○ 廷々ニシテ ○ 遷々ニシテ ○ 往時
 ○ 惑亂ニシテ ○ 冥々ニシテ ○
 和暢ニシテ ○ 和煦ニシテ ○ 往復
 ○ 賄賂ニシテ ○ 湧ク ○ 沸ク ○
 辨へ ○ 破ル ○ 訣ル ○ 蟠ル ○
 縋カ ○ 態々 ○ 涉ル ○ 奔ル ○
 譯 ○ 備 ○ 喚ク
 (カ)之部
 隨意ニシテ ○ 雅談ニシテ ○ 雅
 馴ニシテ ○ 翰墨ニシテ ○ 餓死ニシテ ○
 駕馭ニシテ ○ 高節ニシテ ○ 高低
 比 ○ 鑑識ニシテ ○ 豁然ニシテ ○ 簡

来者何如
 風流之口傳
 陪走之口語
 今夕中於月夜
 之月補有存新案
 之真様之親月之宮
 相續及之支障
 今夕中於月夜
 之月補有存新案
 之真様之親月之宮
 相續及之支障

贖ミガ ○ 簡捷マハシ ○ 凱旋カチイ ○
 續々ナルコト ○ 咬々トキキ ○ 嗽
 嗽カマヒ ○ 簡易ルガ ○ 間接ヘダ ○
 鑑定メキ ○ 高手ワズ ○ 器々カマヒ
 ○ 交々アリト ○ 介々ホサ ○ 隔
 絶ガトヘ ○ 陷阱アトシ ○ 革命ノカ
 メリ ○ 俄々エキダ ○ 驛馬アラ ○
 綱領スチ ○ 緘封シル ○ 耗盡ヒエラガ
 ○ 歌介ヒトリ ○ 歌然クモシ ○ 膠固
 カダマ ○ 苛令ダツシ ○ 苛酷ム
 ○ 苛刻キヒシイ ○ 荒蕪アレハ ○ 荷
 擔モウチ ○ 乾々ツム ○ 倏々スグレ
 ○ 號哭ナキキ ○ 街衢マチ ○ 衡平イ
 カ ○ 講和ヲ ○ 講筵ヲカワシヤ ○ 贖
 偽モセ ○ 赫々ヒカリ ○ 赫々ヒカリ ○

出出と格やう居るに付し
 念多き事は何れも
 去るはるはる
 修せざるは是れ口
 被下流の儀
 天長寺の招く

轆轤ガ ○ 遊遊アツ ○ 開拓トチナ
 ○ 閑雅ナカ ○ 閑居ナカ ○ 閑謀
 マハン ○ 閑筆シテ ○ 嫉々カガチ
 ○ 巖々カガチ ○ 愕々アワラシ ○ 憂
 々ヒチ ○ 闔家カナイ ○ 降誕ヤウシ
 ○ 隔年イキチ ○ 綱目ワケ ○ 耗損
 ○ 耗慮ナリ ○ 歌々トチ ○ 肝
 膽マシヒ ○ 膠漆マコト ○ 苛政シイセ
 ○ 苛察ミマカニ ○ 荒廢アレハ ○ 荒
 野アレ ○ 號泣ナキキ ○ 號砲アイツ
 ○ 街説ヤウバン ○ 賈術ナキ ○ 赫々
 イカ ○ 赫々ヒカリ ○ 較著リセル ○
 遐逝ケル ○ 邂逅アフト ○ 赦々ナカ
 チダ ○ 昂々カガチ ○ 閑談
 ナムダ ○ 間隔ナレハ ○ 間道マキ ○

天長寺の招く
 祝儀及はるはる
 之るはるはる
 去るはるはる
 修せざるは是れ口
 被下流の儀
 天長寺の招く

價値チツ ○ 傲慢ワカ ○ 錯々モトナ
 ○ 廳々アホ ○ 傲散チキコト ○ 交代
 ハレカ ○ 交換カヘ ○ 交誼ツキ ○ 可
 決キコト ○ 佳餉ツキ ○ 佳肴ツキ
 ○ 更始ハシメル ○ 加惠ツク ○ 傲
 然イデ ○ 交驩ツキ ○ 交情ツキ
 際アヒ ○ 可否ツキ ○ 佳茗ツキ ○ 佳
 配ツキ ○ 下情ツキ ○ 下風ツキ
 ○ 可憐ツキ ○ 可嘆ツキ ○ 加
 除ヘラス ○ 加療スル ○ 開叙ハシ
 解割ケル ○ 佳境コロ ○ 嘉遊キ
 ○ 佳麗イレ ○ 嘉兆シメル ○ 閉靜
 シツ ○ 勘考ヘル ○ 交結ムス ○
 交臂ツキ ○ 交驩ツキ ○ 更始アラ
 メル ○ 高教ツキ ○ 坎軻ツキ ○ 講

貴村校友初志以招
 集下年可九月五日
 集社三木林林口集會
 後及也
 ○ 回章

武ヲイフ ○ 赫灼ヒカリガ ○ 向後コト
 ○ 遐邇ツキ ○ 較著ツキ ○ 昂々
 カスケル ○ 咬々トリン ○ 咳嗽ツキ
 侃々ツキ ○ 假持ツキ ○ 刊刻ツキ
 剛風ツキ ○ 假面ツキ
 寒乞ツキ ○ 甘酸ツキ ○ 炕陽ヘホ
 浩麗ツキ ○ 昊天ツキ
 肝食ツキ ○ 考校ツキ ○ 覺醒ツキ
 介入ツキ ○ 際辰ツキ
 敢拒ツキ ○ 涵泳ツキ ○ 絞衣ツキ
 格殺ツキ ○ 合湊ツキ ○ 間斷
 郊外ツキ ○ 刈ル ○ 駭ル
 嗅ク ○ 搔ク ○ 嚙ム ○ 換ル
 噁ル ○ 畏ル ○ 蹇ル ○ 鑑ル
 隠ル ○ 蒙ル ○ 傾ク ○ 枯ル

雪戰口の借ハ軍動
 助けは尚武を性と云
 下座強を極積
 本之を志と云
 高家傑を以て招
 招き集めし人

歸ル○屈ム○乾ク○變ル○
 勘ル○掠ル○飼フ○狩ル○
 懸ル○欠ル○飾ル○管テ○
 語ル○嫁○算ル○添ク○
 撼ル○暈ク○耀ク○還ル○
 重テ○悲ム○累ル○抱ル○
 拘ル○叶フ○固ク○硬シ○
 堅キ○飯ル○蕪ル○託ツ○
 圍ム○闕ク○關ル○辱ク○
 搦フ○芳シ○豫テ○限り○
 哀ム

(ヨ)之部

輿論ノキロン○余貨○容易
 輿論ノキロン○余貨○容易
 輿論ノキロン○余貨○容易
 輿論ノキロン○余貨○容易
 輿論ノキロン○余貨○容易

輿々シム○翌々○庸佐○
 庸劣○豫約○豫○
 算○沃々ナル○庸々ナル
 輿地○余爐○余裔
 輿○余○塞○翼
 蔽○對○踊躍○
 庸才○庸人○庸保
 豫○豫定○輿望○
 容貌○餘裕○餘暇○
 容止○豫防○餘
 白○餘積○天先○
 要素○庸凡○抑留○
 撚ル○呼ル○悅ブ○汚
 輿○歡○粧○賴
 宜○潮○邪○娶ル

此ハ
 〇
 謹啓
 六日
 吾様
 〇
 謹啓
 六日
 吾様

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

謹啓
 例
 〇
 六日
 吾様

〇
 六日
 吾様

吾様
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

〇
 〇
 〇
 〇
 〇

○除ル ○穢ル ○誦ム ○寄ル
○過ル

(夕)之部

陶然 ○踏荒ラス ○誦
選 ○擔任 ○擔保 ○探
偵 ○採檢 ○耐忍 ○探
○怠解 ○斷崖 ○斷崖
○對峙 ○多端 ○多望
○到底 ○討滅 ○討論
○唐突 ○團々 ○惛々
○塘堤 ○堂々 ○討
○旦々 ○梁頤 ○多寡
○多忙 ○對等 ○滔

○五事

長年高令付以照不會の
起る必仕出馬方より同休
後より人数を言ふ歳より
四五名多ス数より之を存
右より潤上後刻は報

々々 ○湛々 ○斷續
○斷平 ○怠慢 ○洶
々々 ○濯々 ○探士
○探訪 ○探索 ○擔當
○諾々 ○端正 ○
○諒々 ○諸々 ○蹕々
○踏襲 ○逮々 ○體
○鏡々 ○醇々 ○體
○鉛鉛 ○鍛鍊 ○體
○逃匿 ○退隱 ○
○報顔 ○讒言 ○
○謝談 ○談柄 ○
○談笑 ○陶
○談笑 ○陶
○談笑 ○陶
○談笑 ○陶

道々上は清々たる海

吉慶祝賀之部

○婚姻を賀す

益々清々たる賀儀は諸君
全思ハ良縁アリハ婚
儀多滞りニシテ海味多

○逃年ニシカ ○逃遁ニシカ ○退
 辟ニシカ ○退讓ニシカ ○報面ニシカ
 ○報然ハダニシカ ○談次ハナシ ○談論
 ○卓量キリキリ ○睡乎ニシカ ○對
 桿ニシカ ○對手ニシカ ○彈劾ニシカ
 ○擢與ニシカ ○泰然ニシカ ○淡
 薄ニシカ ○濁穢ニシカ ○黨與ニシカ
 胎禍ニシカ ○脫鬼ニシカ ○脫劍
 ○卓然ニシカ ○卓識ニシカ
 單身ニシカ ○大學ニシカ ○對偶ニシカ
 ○彈糾ニシカ ○擢用ニシカ ○泄恩ニシカ
 ○淡泊ニシカ ○談交ニシカ ○黨
 派ニシカ ○脫黨ニシカ ○胎漏ニシカ

口福了上在輕微イタリ 至ニシカ
 度一其別紙目錄トホリ
 敬呈任聊賀意ニシカ 至ニシカ
 申山受納奉ニシカ 至ニシカ
 惟ニシカ 至ニシカ 謹白

○ 答

○瞻察ニシカ ○卓見ニシカ ○倒
 錯ニシカ ○他意ニシカ ○多岐ニシカ
 ○單行ニシカ ○探訪ニシカ ○探驗
 ○到頭ニシカ ○拓落ニシカ ○濯々
 ○歎嗟ニシカ ○拓地ニシカ ○泰
 斗ニシカ ○短拙ニシカ ○頽屋ニシカ
 險阻ニシカ ○建夜ニシカ ○琢磨ニシカ
 ○端緒ニシカ ○懦弱ニシカ ○端然
 ○大倫ニシカ ○大旱ニシカ ○大
 駕ニシカ ○大典ニシカ ○叨貪ニシカ
 ○叨々ニシカ ○大患ニシカ ○澤淡
 ○耽誤ニシカ ○大買ニシカ ○單
 及ニシカ ○臆書ニシカ ○台命ニシカ
 胆悼ニシカ ○大息ニシカ ○道ニシカ

芳里呈捧 後任及恩息
 結婚仕陸ニシカ 鄭ニシカ
 口同係口惠贈ニシカ 深
 謝ニシカ 口口近附ニシカ 為ニシカ 招
 是ニシカ 及ニシカ 至ニシカ 口臨ニシカ 駕
 奉ニシカ 行ニシカ 是ニシカ 至ニシカ 口清ニシカ 至ニシカ 如

○ 覃惠タンケイ ○ 大逆ダイギツ ○ 待遇タイユ
 ○ 試スシ ○ 叩クク ○ 擲クチツク
 ○ 爛レラン ○ 誑スシヤウ ○ 耕スケイ ○ 戲ルキ
 ○ 漂フヒョウ ○ 低ルテイ ○ 輔フホ ○ 嗜ムシ
 ○ 貯フチ ○ 糺スシユ ○ 絶ツケツ ○ 祟ルスミ
 ○ 保ツホ ○ 有ツユ ○ 溜ルリュ ○ 賜フミ
 ○ 湛エタン ○ 緩ムクワン ○ 違ヒチガヒ ○ 欺スキ
 ○ 撓ムナカ ○ 泌ルセツ ○ 帖ムテイ ○ 扶ケササ
 ○ 猛シマウ ○ 諭フゴン ○ 携フケ ○ 忽チコト
 ○ 愷ニカイ ○ 樂ムラク ○ 尊ブソウ ○ 尋ルジン
 ○ 逞クテイ ○ 輒チラク ○ 束子スツ ○ 揉ルモウ
 ○ 鬪フトウ ○ 倒レタオ ○ 偶ウ
 (レ)之部
 靈魂レイコン ○ 麗人レイジン ○ 遠達レンダツ
 ○ 黎庶レイシヤ ○ 列置レツチ ○ 列レツ

祖ソ ○ 慈者ジヤ ○ 慈々ジジ
 ○ 鈴々レイレイ ○ 遙々レイレイ ○ 列肆レツシ
 ○ 黎首レイシュ ○ 了解レイカ
 麗質レイシツ ○ 零落レイラク ○ 連帶レンタイ
 ○ 靈樹レイジュ ○ 連署レンジヤク ○ 連々レンレン
 ○ 連綿レンメン ○ 禮讓レイリヤウ
 練々レンレン ○ 烈士レイシ ○ 連累レンレイ
 ○ 連續レンジツク ○ 懸峙ケンシ
 零餘レイヨ ○ 靈妙レイミョウ ○ 譚々タンタン
 ○ 參測サンソク ○ 禮遇レイユ
 參々サンサン ○ 煉磨レンカ ○ 憐レン
 察サツ ○ 憐憫レンカウ ○ 憐恤レンシツ
 ○ 聆々レイレイ ○ 寮友レイユ ○ 廉レン
 潔ケツ ○ 令範レイハン ○ 令名レイメイ
 ○ 獵々レイレイ ○ 烈々レイレイ ○ 廉レン

斯ス 旦タン 後ゴ 希シ 海カイ

○ 出シュツ 産サン 上ジョウ 加カ 登トウ 以イ

今イマ 蘭ラン 之ノ 夜ヤ 以イ 平ヘイ 産サン

特トク 之ノ 男ナン 子シ 之ノ 法ホフ 德トク 健ケン

趣シュ 以イ 家カ 運ウン 長チャウ 之ノ 人ニン 之ノ 甚ケン 登トウ 以イ

少シヤウ 之ノ 甚ケン 登トウ 以イ 紅コウ 白ハク 綿メン 緬メン

壹イツ 區ク 口コウ 祝シユ 儀ギ 之ノ 駢シ 之ノ 小シヤウ

道ドウ 里リ 仕シ 以イ 刑ケイ 妻サイ 之ノ 小シヤウ 之ノ 小シヤウ

敦トン 之ノ 為メイ 之ノ 常ジョウ 之ノ 下ゲ 枝シ 之ノ 出シュツ 以イ

右ウ 得トク 妻サイ 之ノ 下ゲ 度タク 之ノ 出シュツ 以イ

敬ケイ 白ハク

○ 回クワイ 答トウ

耻○廉直○令嗣○
歷々○令開○憐恕
○固置○勵聲○
勵精○冷官○冷笑
○了語○了承○伶
人○冷語○察佐○
厲鬼○連夜○歷覽○
○歷然○麗妙○歷世
○麗娟○陵轍○
然○線繞○玲瓏○
○聊爾○燎烟

(ソ之部)

東○東○東○
○即決○尊攘○
○遜遜○風々○
○忿々○贈儀○
○鼠竄○鼠賊○
○阻隔○擲々○搜
々○疎暴○疎遠○
○素樸○楚々○素質○
○即今○敬々○草々
○聰明○聰穎○疎
情○蒼々○蘇々○
○疎安○素林○阻々
○錚々○踰々○素
○騷々○存問○

安産は早産
は福洞と且過家と美
昨は贈典様下と
母子共々顔は健康
間作憚り致神
清平等々謝

棟上を祝す

計案を高く橋と事
名おす掛り上柱と式を
響きげらまを起し方かえら
少ながら酒を樽を
一揮笑を音を奏し

○疎慢ソマン ○疎脱ソダツ ○粗漏ソロ
 ○遺際ソウサイ ○京帛キョウヒツ ○賤ソウ
 ○疎忽ソウコツ ○蒼天ソウテン
 ○蒼黃ソウワウ ○阻厄ソウイ ○崇選ソウケン
 ○層層ソウソウ ○藍生ソウセイ ○嚼ソウ
 ○測量ソクリヤウ ○總攬ソウラン ○卒ソツ
 先セン ○殞落ソウラク ○損耗ソンスウ
 ○麤衣ソウイ ○層雲ソウウン
 祖述ソソツ ○俗諺ソクセン ○俗塵ソクジン
 ○存歿ソンボツ ○即位ソクイ
 側低ソクテイ ○祖訓ソクコン ○添ソフ
 ○副ソフ ○刺ソク ○嫉ソク ○誹ソフ
 ○灌ソク ○背ソク ○諂ソク ○脅ソク
 ○捕ソク ○譏ソク ○染ソク ○備ソク
 ○登ソク ○酒ソク ○具ソク ○調ソク

以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ
 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ
 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ
 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ 以笑留シヤウリウ

○ 止トモ

美海ミウミ 美海ミウミ 美海ミウミ
 美海ミウミ 美海ミウミ 美海ミウミ
 美海ミウミ 美海ミウミ 美海ミウミ
 美海ミウミ 美海ミウミ 美海ミウミ

ル○咬ス○反ル○抑

(ツ)之部

痛嘆ツウタン ○痛論ツウロン ○追及ツイキョク
 ○痛痒ツウヤウ ○痛惜ツウセキ
 追想ツイソウ ○通宵ツウヨウ ○通議ツウギ
 追擊ツイキ ○追擊ツイキ ○追放ツイホウ
 追討ツイタウ ○通論ツウロン ○通曉ツウコウ
 通微ツウイ ○痛哭ツウコク
 通衢ツウコ ○杜撰ツウゼン ○追從ツイジュウ
 ○搗ツウ ○搗ツウ ○積ツウ
 綴ツウ ○綴ツウ ○覓ツウ
 纂ツウ ○纂ツウ ○詳ツウ ○潰ツウ
 傳ツウ ○傳ツウ ○約ツウ ○貫ツウ
 列ツウ ○連ツウ ○遺ツウ ○車ツウ
 窒ツウ ○償ツウ ○束ツウ ○劈ツウ

吉辰キツシン 吉辰キツシン 吉辰キツシン
 吉辰キツシン 吉辰キツシン 吉辰キツシン
 吉辰キツシン 吉辰キツシン 吉辰キツシン
 吉辰キツシン 吉辰キツシン 吉辰キツシン

日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ
 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ
 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ
 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ 日昇ニツシヨウ

○ 日昇ニツシヨウ

南ナン 南ナン 南ナン
 南ナン 南ナン 南ナン
 南ナン 南ナン 南ナン
 南ナン 南ナン 南ナン

拙シ○慎ム○詰ル○司ル○
 積ル○集フ○疲ル○雙○力
 メ○務ム○盡ス○終ニ○包
 ム○序○撮ム○費ス○強シ
 ○突ク○附ク○夙ニ○亞ク
 ○揃ム○恒ニ

(子)之部

寧安○粘着○熱中○
 念慮○依幸○
 媚○依智○年齒○
 寧蒗○熱血○
 依姦○依談○年
 處○熱昏○熱望○
 年頭○年輩○
 眠ル○懇○煉ル○嫉ム○

紙ル○視フ○願フ○捨ル○
 練ル○録ル○
 依○
 遼ル

(ナ)之部

内訌○内應○内訓
 乃至○
 難題○内通○
 政○内諭○
 難○
 難易○
 納稅○
 腥○
 勿○
 滑○
 慰○撫○
 宥○
 懷○
 泥○

非常之知
 知
 勵
 一
 情

功
 善
 世
 功
 世
 功
 世

ア
 界
 進
 母
 以
 趣
 事

忠
 恨
 以
 心
 祝
 加
 事

と
 表
 鮮
 魚
 藍

厨
 下
 具
 具

○五十一書

シヤウチ
 才
 敢

カフム
 才
 才
 才

ホド
 才
 才
 才

トコロ
 才
 才
 才

ハタ
 才
 才
 才

○運轉ウンテン ○鬱結ウツキツ ○運籌ウンチウ
 ○運搬ウンバン ○運送ウンソウ ○運送ウンソウ
 ○羽檄ウエキ ○迂濶ウヅク ○迂ウヅク
 ○途ト ○鳥有ウチウ ○運ウン
 ○運ウン ○雲泥ウンニ ○宇内ウチノ
 ○于々ウツウツ ○雲霓ウンニ ○紆餘ウヅカ
 ○鬱然ウツゼン ○迂曲ウヅクマ ○蘊ウン
 ○奧ウツ ○蘊ウン ○鳥合ウチガ
 ○雲散ウンサン ○云々ウンウン ○浮ウツ
 ○植ウツ ○穿ウツ ○穿ウツ ○飢ウツ
 ○愁ウツ ○恨ウツ ○寫ウツ ○掃ウツ
 ○謠ウツ ○亡ウツ ○踈ウツ ○移ウツ
 ○疑ウツ ○疑ウツ ○疑ウツ ○疑ウツ
 ○占ウツ ○占ウツ ○促ウツ ○淡ウツ
 ○潤ウツ ○潤ウツ ○潤ウツ ○潤ウツ

若者ありて... 懐中時計... 八月九日

伊藤生

小林先進

○卷

不在中... 不フ在ザイ中チュウ

起キ之ノ兄ケイ...

沙シャ且カ且ツ...

○倦ウツ ○掃ウツ ○庭ウツ ○登ウツ
 ○擊ウツ ○掃ウツ ○理ウツ
 (ノ)之部
 最時サイジ ○濃淡ノウタン ○能辨ノウベン
 ○糞括フンクツ ○辰戸チンブ ○能ノウ
 ○糞フン ○濃ノウ ○能ノウ
 ○糞フン ○通ツウ ○昇ショウ ○殘ザン
 ○拭フシ ○飲イン ○吞ツウ ○除ジュ
 ○載サイ ○登トウ ○騎キ ○遺イ
 (ク)之部
 屈伸クツシン ○寬洪クワンフウ ○寬典クワンテン
 ○官クワン ○官クワン ○官クワン
 ○訛傳シデン ○乖忤クワイブ ○乖クワイ
 ○勤クイン ○勤クイン ○關クワン ○關クワン

假令アイト ○ 偶然トイ ○ 區々トイ
 ○ 醜々トイ ○ 鏗々トイ ○ 鏗々トイ
 寛容ニイレルカ ○ 寬仁ガキ ○ 寬大
 ○ 官准カキ ○ 君寵ニイレルカ
 ○ 詭言トイ ○ 遠々トイ ○ 乖争
 カイ ○ 乖戾トイ ○ 區區トイ ○ 踴々
 ナシトイ ○ 區區トイ ○ 區區トイ
 ○ 勳功トイ ○ 過失トイ ○ 越々トイ
 ○ 貫通トイ ○ 貫穿トイ ○ 貨
 賂トイ ○ 誑平トイ ○ 誇誕トイ
 財 ○ 觥々トイ ○ 談嘲トイ ○
 訓導トイ ○ 訓誨トイ ○ 薰陶
 華勳トイ ○ 華奢トイ ○ 華習トイ
 ○ 緩慢トイ ○ 管見トイ ○ 眩

心懼々々々々々々々々々々々
 恩々々々々々々々々々々々々
 信々々々々々々々々々々々々
 上々々々々々々々々々々々々
 如々々々々々々々々々々々々
 二仲直々々々々々々々々々々

々々々々々 ○ 過督トイ ○ 貫徹トイ
 ○ 貨調トイ ○ 貨殖トイ ○ 誇言
 ○ 談謙トイ ○ 瘡々トイ ○ 訛
 謬トイ ○ 訓誥トイ ○ 薰染トイ
 ○ 莞爾トイ ○ 華裔トイ ○ 皇
 々々々々 ○ 碗々トイ ○ 華麗トイ
 ○ 華貴トイ ○ 緩歩トイ ○ 管
 絃々トイ ○ 潰々トイ ○ 屈服トイ
 會計トイ ○ 怪異トイ ○ 怪說トイ
 ○ 煙々トイ ○ 思者トイ ○ 患
 難トイ ○ 愚意トイ ○ 愚弄トイ
 ○ 擴充トイ ○ 曠代トイ ○ 蕪々
 ○ 歡喜トイ ○ 歡待トイ ○ 空
 漠トイ ○ 空言トイ ○ 管轄
 ○ 管箝トイ ○ 空虛トイ ○ 洗

心懼々々々々々々々々々々々
 恩々々々々々々々々々々々々
 信々々々々々々々々々々々々
 上々々々々々々々々々々々々
 如々々々々々々々々々々々々
 二仲直々々々々々々々々々々

々々々々 ○活々々々 ○空乏乏
 ○歡迎 ○歡悅 ○歡世
 日ヲスニ ○曠々々々 ○曠世
 ○擴張 ○愚衷 ○屈撓 ○會
 盟 ○怪訝 ○恒々々々
 ○恍惚 ○愚苦 ○睡々
 ○祝々々々 ○灰燼
 ○回章 ○快意 ○驅使
 律々々々 ○活潑 ○驅使
 ○壞敗 ○果決
 ○拘々々々 ○果決
 款接 ○窘究 ○憤々々
 ○頑愚 ○窘逼 ○款待
 ○果然 ○果敢

けのりきり可一十時
 以光未
 早ふ乙
 ○復
 証
 念命
 深海

○驅逐 ○侃々々々
 ○活潑 ○快潤 ○回
 復 ○句々々々 ○暗々々々
 ○恢復 ○煦々々々 ○荒漠
 ○關心 ○關係
 ○禍福 ○過當
 ○過慮 ○過激 ○禍害
 ○關涉 ○頑固 ○外
 寇 ○外拒 ○外援
 ○外交 ○快然
 ○官稟 ○外貌 ○回
 旋 ○華押 ○環
 ○果毅 ○群氓 ○環
 ○煥炳 ○寡欲

○全快を祓す
 拜謝
 極縁
 配
 願

○靡フ○易シ○優シ○敬ル
○頓テ○休ム○馳テ○宿ル
○暗○闇

(マ)之部

枚舉カクハ○滿悦ミヨロヒ○閉兩ガ
ハ○憂々コヒ○靡靡スリ○摩擦ス
○漫遊アリキ○蔓延カホ○未
利マコシ○末路ヒトニ○味且アラ
キコト○味死ミチスツ○網羅トラス
○妄誕ワツ○妄動ミヨリニ○猛烈
クシクハ○磨滅スツツ○漫滅メチヤ
○漫歩アリク○末技ケイ○末議イナ
○味爽ヨキ○味莫ラシ○妄
言ワツ○妄聽ギン○盲昧モツ○慢
侮アリ○瞞着カス○埋伏アル

○埋没レル○慢心コソナ○漫漶
カ○漫々ヒロ○漫罵ナナシ○漫
々カク○時ク○撒ク○優ル○
勝ル○祭ル○舞フ○紛レ○
惑フ○轉フ○交ル○免ル○
護ル○貧○迷フ○雜ル○曲
ル○屈ル○招ク○廻ル○賄
ヒ○賂ヒ○呪○營ニ○將ニ
○方ニ○負ル○待ツ○俟ツ
○稀○幻○參ル

(ケ)之部

形容カク○建白テル○險難シヤ
○嚴酷ヒシ○竊々シキガ○險
々シキ○俠氣ヲトコ○俠任
テトコメ
○僥倖ニイサ○僥備
シテトコメ○劇

と指ひ大快みそとけ惠
投じ健口もそ射あまは
厚くは神い本言痛古
麻揚の内祝は招待波
房の舟生空了揮却上
又口高禮下上お波

○入學を賀す

以今より入學を賀す
卒業おめたる後方常
中學一日入校おめす
愉快は性情質よく得る
以成業の程勤く行つ

職キヤウシ ○却界キヤウシ ○蹄々キヤウシ
 ○蹇々キヤウシ ○勁敵キヤウシ ○原
 質キヤウシ ○嚴麗キヤウシ ○形状キヤウシ
 形勢キヤウシ ○建言キヤウシ ○嶮岨キヤウシ
 ○蹇々キヤウシ ○勁兵キヤウシ ○
 勁質キヤウシ ○備備キヤウシ ○刑罰キヤウシ
 ○劇場キヤウシ ○俠客キヤウシ ○警々キヤウシ
 ○謙々キヤウシ ○諒々キヤウシ ○顯
 達キヤウシ ○闕如キヤウシ ○軒渠キヤウシ
 ○輕易キヤウシ ○效效キヤウシ ○血淚キヤウシ
 ○經營キヤウシ ○網絡キヤウシ ○繼
 續キヤウシ ○肩摩キヤウシ ○虔肅キヤウシ ○寒
 々キヤウシ ○驕肆キヤウシ ○顯然キヤウシ
 ○隙駒キヤウシ ○迎接キヤウシ ○翹々
 ○輕薄キヤウシ ○輕裝キヤウシ

存書以藉抄手
 幸未以夜抄手
 料是作以以るまお
 旬ふ備
 ○五箱
 愚者ハ入學子存以存問

○經綸キヤウシ ○繼紹キヤウシ ○繫獄
 羅網キヤウシ ○虔敬キヤウシ ○稀有キヤウシ ○血
 胤キヤウシ ○訣別キヤウシ ○警戒キヤウシ ○
 爾々キヤウシ ○軒然キヤウシ ○怯懦
 キヤウシ ○恩款キヤウシ ○懸隔キヤウシ ○教
 化キヤウシ ○矯々キヤウシ ○傲々キヤウシ
 ○梟首キヤウシ ○權衡キヤウシ ○權道キヤウシ
 ○權宜キヤウシ ○皎々キヤウシ ○滅
 少キヤウシ ○激發キヤウシ ○激烈キヤウシ
 ○曠語キヤウシ ○罕々キヤウシ ○彥士キヤウシ
 ○恐怖キヤウシ ○懸懸キヤウシ ○教
 誨キヤウシ ○敬恭キヤウシ ○熒々キヤウシ ○炯
 々キヤウシ ○鼻惡キヤウシ ○檄文キヤウシ ○
 權術キヤウシ ○權變キヤウシ ○權勢キヤウシ
 ○激憤キヤウシ ○稽首キヤウシ ○結局

並に以惠品以てお交付
 大由に純才將來如何
 人物を求むるに於て
 念念は山澤を教養す
 忽ちすべしは存るお勵
 是れは上巻及下巻の時

ツン ○ 玄々ワレニ ○ 謙々コホリ ○
 経済 ○ 経歴 ○ 結末 ○
 ○ 涓々 ○ 驕恣 ○ 驕奢 ○ 驕奢
 カブル ○ 驚駭 ○ 驚悸 ○ 捲
 々 ○ 掲々 ○ 築猪 ○
 ○ 驍健 ○ 傾斜 ○ 憲
 々 ○ 慊々 ○ 協力 ○
 々 ○ 驕傲 ○ 驕侈 ○ 驚愕
 ○ 築猪 ○ 健厚 ○
 々 ○ 契々 ○
 ○ 協同 ○ 傾覆 ○
 々 ○ 檢定 ○ 檢閱 ○
 ○ 謙退 ○ 景象 ○ 揭示 ○
 ○ 獻上 ○ 形貌 ○ 嫌
 惡 ○ 嫌疑 ○ 研磨 ○

刊武後度
 幸業を祝
 今面専門學校卒業
 相成来蹟優等
 以賞品を授けらるよし

○ 幸業を祝

今面専門學校卒業

相成来蹟優等

以賞品を授けらるよし

潔白 ○ 傾動 ○ 乾坤
 乾々 ○ 娟々 ○ 喧嘩 ○
 噪 ○ 喧嘩 ○ 體倦 ○
 ○ 繼子 ○ 系統 ○ 結婚 ○
 ○ 欠伸 ○ 倦疲 ○ 娟感
 ○ 健康 ○ 建築 ○ 血統
 ○ 儉省 ○ 洞急 ○ 缺點
 ○ 狷介 ○ 皎然 ○ 携
 持 ○ 檢制 ○ 缺乏 ○
 牽連 ○ 穴隙 ○ 原由 ○
 ○ 弦月 ○ 逆浪 ○ 翹
 望 ○ 泣然 ○ 姦厥 ○
 ○ 言責 ○ 月賦 ○
 眷族 ○ 謙遜 ○ 形情
 ○ 削ル ○ 消ス ○ 穢レ ○ 險

名譽
 今面専門學校卒業
 相成来蹟優等
 以賞品を授けらるよし

シ○炭シ○删ル

(フ)之部

腐敗フヘイ ○紛擾フンニョウ ○紛々フンニョウ
 ○無頼ムライ ○浮沈フウセン ○扶々フキキ
 ○沸騰フワテン ○憤懣フンマン
 ○惰惰フワフワ ○奮發フンハツ ○分フ
 疎フ ○沕々フクフク ○分裂フンレツ
 ○紛争フンソウ ○紛紜フンウン ○無フ
 爲フ ○無聊ムリョウ ○浮浪フウロウ
 ○物議ブツギ ○服從フクジュウ ○憤フ
 激フ ○分離フンリ ○蕭々フウフウ
 ○分フ ○俯仰フウオウ
 ○不拔フバツ ○伏匿フツツク ○不恭フクウ
 ○粉々フンニョウ ○不快フクタイ
 ○不遇フブコウ ○不滿フマン ○不遜フソン

○答

只念海之海了者會之事
 業を興へて國家を好む
 之を極口心懸く事
 古に及ばざる者一書
 星之海
 三ツリナルコトバ ユルサレヨ

不軌フクキ ○不佞フテイ ○不フ
 羈フ ○不虞フブ ○不逮フタイ
 ○不測フソク ○覆々フクフク ○拂フ
 曉フ ○風波フウハ ○頒賜ハンキ
 累々レイレイ ○覆沒フクボツ ○舞踏マヅ
 ○腐蝕フシツク ○腐爛フラン
 ○輻輳フクソク ○風采フウサイ
 ○覆郁フクイク ○紛綸フンリン ○芬芳フウハウ
 ○負債フサイ ○負販フヘン
 復古フコ ○附從フジュウ ○符合フゴウ
 服膺フクヤウ ○阜盛フセイ
 誣告フコウ ○忿怒フンニョ ○復還フクワン
 ○普及フキキ ○不敏フミン ○不朽フコウ
 ○不厭フイヤン ○不諳フサン ○分フ
 析フ ○分フ ○佛閣フツカク ○不フ

芳墨揮見仕法今回率
 業は身道當之度詞
 並懇切に口交訓除
 感銘仕候実家了如實
 業界の身を委ね度存
 得る形如き鈍物何事

群シヤウ不フ覺カク賦フ眞シキ
 分フ割カク分フ隔カク賦フ歛シト
 防フ禦カク禦カク耽フ耽フ脹フル
 合フ合フ殖フ殖フ震フ震フ更フル
 振フ振フ降フ降フ經フ經フ歷フル
 蹈フ蹈フ嘗フ嘗フ伏フス
 (コ)之部
 骨フ董フ願フ眷フ願フ眷フ願フ眷フ
 故フ意フ根フ低フ根フ低フ拘フ泥フ泥フ
 惘フ惘フ惘フ惘フ惘フ惘フ惘フ惘フ
 忽フ忽フ忽フ忽フ忽フ忽フ忽フ
 娛フ樂フ固フ固フ固フ固フ固フ固フ
 口フ口フ口フ口フ口フ口フ口フ口フ

先セン達ダツ之シ教ケウ導ダウ乎フ亦アツ非フ也ナニ
 事コト成ナ難ガタ之シ也ナニ
 一ツク層アン以シン添ヒ心タテ以ヒ引タテ之シ也ナニ
 企キ望バウ以キ貴シウ酬ウ之シ也ナニ
 書シ造シ之シ招マシ之シ
 温オン和ワ之シ候コウ日ジツ清セイ福フク之シ也ナニ

酷ク暑シ根ケン據キョ根ケン據キョ根ケン據キョ
 造ゾウ造ゾウ造ゾウ造ゾウ造ゾウ造ゾウ造ゾウ造ゾウ
 故コ知チ拘コウ束ソウ拘コウ束ソウ拘コウ束ソウ
 恒コウ常ヤウ恒コウ常ヤウ恒コウ常ヤウ恒コウ常ヤウ
 扈コウ扈コウ扈コウ扈コウ扈コウ扈コウ扈コウ扈コウ
 固コウ固コウ固コウ固コウ固コウ固コウ固コウ固コウ
 狐コウ疑ギ狐コウ疑ギ狐コウ疑ギ狐コウ疑ギ
 候コウ候コウ候コウ候コウ候コウ候コウ候コウ候コウ
 吃コウ吃コウ吃コウ吃コウ吃コウ吃コウ吃コウ吃コウ
 獨コウ獨コウ獨コウ獨コウ獨コウ獨コウ獨コウ獨コウ
 困コウ困コウ困コウ困コウ困コウ困コウ困コウ困コウ
 然コウ然コウ然コウ然コウ然コウ然コウ然コウ然コウ
 鴻コウ恩オン鴻コウ恩オン鴻コウ恩オン鴻コウ恩オン
 扣コウ除シュ扣コウ除シュ扣コウ除シュ扣コウ除シュ

傳サテ家カ文フ像ギ本ホン年ニン還クワン曆シキ
 於ヨハニ達ダツ之シ所トコロ幸サイハヒ身シン體タイ
 強キヤウ健ケン之シ也ナニ
 之シ幸カウ福フク之シ也ナニ
 自ジ自ジ自ジ自ジ自ジ自ジ自ジ自ジ
 別ベツ段ダン之シ後ノチ也ナニ

笑ワラフト○洪然ルカチナ○後患ウレイン
 ○溝渠○孔子ヨリ○巨細
 コホカイ○鴻儒○鴻益ヲホキナ○鴻
 圖カホキナ○故事ヲムキ○故人シヒ
 ○枯朽カレク○呼喝ルカ○呼
 吸キ○古器ムカシ○古往ムカ○
 口實トシ○古談ムカシ○混濁ム
 ○滑稽ケド○昏暮ガレ○昆
 蟲ケラ○故障ヨリ○後悔アリ○
 混成シキト○混泥リカラニモ○固
 辭トカク○構造クミナシ○混々ナ
 ガル○昏迷スベツ○巧黠コトカシ
 巧妙○巧用ヲハ○斷ル○轉
 プ○爰ニ○茲ニ○跋ル○越
 ス○殺ス○剛シ○懲ス○肥

四ノ百ノ年ノ前ノ十時隱室
 只東村ニ車ヲ及リテ
 為如新傳ノ屋ノ教具
 ○報答
 此休一ト上ト壯健ニ入道

ル○媚ル○拒ム○壞ツ○魚
 ○籠ル○溢ル○拵ハ○試
 ム○蒙ル○盡ク○希フ○快
 シ○異ル○被ル○悉ク○
 漕クヲ○込ム○漉スヲ○樵
 ルキナ
 (エ)(エ)之部
 泄洩ル○穢感ホホメ○影響
 ○嘲々シカク○幼稚ナゴ○窳
 スガク○厭々シキ○轅門モン
 鋭氣スル○穎敏スル○嬰々ナリ
 ○驛舎ナド○遠慮シテ○銳
 進スル○役々メト○婉々ワル
 穎悟スル○營繕トシ○囉々リカ
 ガナ○遙拜ホガム○杳然ルカチナ

海客江表雲...
 右月智空...
 待て名譽...
 其教...
 付鯉魚...
 与下...

曳杖ヒツエテ ○ 嘩々カガキチ ○ 怨嗟ヲ
 ミナシ ○ 拈々ウゴク ○ 嗔々ホシク ○ 怨
 望ヲフクニ ○ 英邁ヒト ○ 掩々カワラ
 ○ 杳々ナリ ○ 英俊ビドレ ○ 攻斷
 フシレタ ○ 緣故リ ○ 濛々カガキチ
 ○ 爰々ナカ ○ 鋭氣キレキ ○ 延紆
 ○ 延滞コホレ ○ 飲々ホノ
 炎々ナリ ○ 營々カガキチ ○ 浸々ナミ
 ○ 榮枯カレレ ○ 穎オスレ ○ 偃
 々ホシ ○ 泄々ナリ ○ 搖動キレ
 ○ 永訣カレレ ○ 悅服オスレ ○
 詠曲ヒ ○ 莊固ソ ○ 釋々カガキチ
 ○ 窈々フカシ ○ 裔孫ソ ○ 窈
 罪ムツ ○ 掩襲フイ ○ 趨々カガキチ
 ○ 遙遠トホレ ○ 耀彩イロド ○ 炎

謝
シヤウ

凶變吊慰之部

○ 少學見之舞

飛ねる心入公時夜は
ヒ サツ サク ヤ キ
 傍分出空を以て常平と大
ハウ シニツクワ ヒ シヤウ キ
 火あやしく中々形當り
ヨシ コン テウ タウ

々々ガ ○ 裔々ガ ○ 宛然ガ
 演習スレコ ○ 曉々ガ ○ 際々ガ
 々々カ ○ 滯留ト ○ 綱々ガ ○ 靈
 々々カ ○ 妖治ト ○ 遙々ハ
 (テ)之部
 貼付ケレ ○ 凋落オツミ ○ 超絶ケ
 ○ 願々カガキチ ○ 離々カガキチ
 超凡オツミ ○ 潮流ガレイン
 ○ 願沛アヒダ ○ 圃々コエナイ
 ○ 顛復カヘス ○ 盛々カガキチ ○ 彫
 鏘モナ ○ 眺望メナ ○ 超過スギ ○
 兆民オホシ ○ 迢々カガキチ ○ 轉々
 ○ 朝暮アゲ ○ 顛仆オホ ○ 逸々
 ○ 顛倒カヘレ ○ 轉載ヒツン

諸新聞を以て知後
シヨ シニ シヤウ チ キヤウ
 移住は其家より別
ガ カ カ ヒツ デ フ
 身は其心許
ハナハダ コ ロ モ ト
 付は向古右就
ウカ ヒ モ ギ ツ タウ チ
 方口用命件
ハウ ヨウ ム キ ケン
 去て是に申附
エ シ リ ヨ マウ シ ツ ケ マツ

○ 留々 アライ ○ 安逸 アノイ ○ 安
 置 アノイ ○ 愛慕 アイモ ○ 軋々 アノイ
 ○ 暗殺 アノイ ○ 哀叫 アノイ ○ 嘲
 ○ 聚ル ○ 顯ス ○ 謔ル ○ 謔ル
 ○ 預ル ○ 操ル ○ 擧ル ○ 憐
 ○ 溢ル ○ 惘ル ○ 怪ム ○ 危シ
 ○ 崇ム ○ 敢テ ○ 哀ミ ○ 惘ム
 ○ 洗フ ○ 充ル ○ 歩ク ○ 余ル
 ○ 仰グ ○ 憐ミ ○ 擧ク ○ 鮮キ
 ○ 欺ク ○ 扱フ ○ 争フ ○ 侮ル
 ○ 慙ム ○ 詭ム ○ 恰モ ○ 改ム
 ○ 更ム ○ 現ル ○ 興ル ○ 操ル
 ○ 遍ク ○ 集ル ○ 剩ヘ ○ 遮シ
 (サ)之部
 ○ 早計 サウケイ ○ 叢陰 サウイン ○
 ○ 詐偽 サウヘイ ○ 追慕 サウモ ○ 造化 サウカ
 ○ 颯々 サツサツ ○ 譟呼 サウコ ○ 散
 卒 サツ ○ 早晚 サウバン ○ 爽快 サウクワイ
 ○ 錚々 サウサウ ○ 造詣 サウケイ ○ 讚美
 ○ 諍聞 サウケン ○ 懸々 サウサウ ○ 散
 布 サツ ○ 桑梓 サウシ ○ 散策 サウサツ
 散步 サツ ○ 措置 サウチ ○ 采々 サイサイ
 ○ 巢穴 サウケツ ○ 想像 サウゾウ ○ 細
 密 サイ ○ 雜々 サツサツ ○ 參考 サウコ
 參酌 サウサツ ○ 細鱗 サイリン ○ 越々
 參酌 サウサツ ○ 嗟嘆 サウタン ○ 散逸 サウイツ
 暫憩 サウケツ ○ 創傷 サウショウ ○ 瞻々
 壯觀 サウクワン ○ 猥々 サウサウ
 鏘然 サウゼン ○ 索々 サウサウ
 倉庫 サウコ ○ 遭遇 サウゾウ ○ 糟糠 サウコウ

○ 水害見舞 スイガイミマヒ
 前晴 ゼンセイ 暑未 シュミ 暴風雨 バウフウウ
 水出 スイデ 報知 ハウチ
 未及 ミキ 地及 チキ 報知 ハウチ
 村 ムラ 帰心 キヤウシン
 後 ノチ 活 カク 活 カク

二伴 ニバン 出 デ 生 シヤウ 存 ソン 燒 シヤウ 生 シヤウ 戸 ト 敷 シ
 三石 サンシヤウ 甲 キヤウ 余 ヨ 死 シ 傷 ヤウ 皆 トウ 以 シ
 中 チュウ 且 シカ 壯 ツウ 者 シヤ 多 タ 數 スウ 負 ヒ 氏 シ
 之 シヤウ 情 キヤウ 狀 キヤウ 極 キヤウ 力 キヤウ 者 シヤ
 自 ジ 自 ジ 自 ジ 自 ジ 義 ギ 捐 ケン 救 キヤウ 照 ジヤウ
 是 シ 法 ホウ

○ 水害見舞 スイガイミマヒ
 前晴 ゼンセイ 暑未 シュミ 暴風雨 バウフウウ
 水出 スイデ 報知 ハウチ
 未及 ミキ 地及 チキ 報知 ハウチ
 村 ムラ 帰心 キヤウシン
 後 ノチ 活 カク 活 カク

○壯嚴チウケン ○創痍チウイ ○瑣事サウシ
 ○作用チウヨウ ○再興サイキョウ ○壯チウ
 大ダイ ○倉卒ソウソツ ○罰見バツケン
 鎖閉サヒ ○采飾サイシヨク ○齋戒サイカイ
 ○瞻乘テンシヨウ ○錯綜サクソウ ○錯誤サゴ
 ○早成ソウセイ ○洩波シヤウハ ○草賊ソウゾク
 ○草稿ソウコウ ○殘酷ザンコク ○藏ゾウ
 匿ニク ○悲伏ヒフク ○慘淡サンタン
 ○索然ソクゼン ○濯々ソクゾク ○察サツ
 ○娑々シャシャ ○精柏セイハク
 ○攝影セツエイ ○沓收ソウシュウ ○些々シャシャ
 ○嘈々ソウソウ ○愴愴ソウソウ
 ○掃蕪ソウウ ○採用サイヨウ ○際限サイゲン
 ○坐談ザタン ○叫キョウ ○障ショウ
 ○醒セイ ○挾ケツ ○哢ロ ○浚ジュン

備ビもさるニシカ 俄シシに浸スイ水スイ付ツキり
 此コノ屋ヤ所トコロに被ヒ徳トク言コト事コト部ブ
 詳シヤウ細サイは通ツウ義ギを及ジ時トキ至キり
 上ウエをいひて子コ傳デンる人ヒトを世セに
 分ワケりて教ケウは向ムカヒてお
 ○答コタヘ

捧ホウ少ショウ ○妨ホウ ○支シ ○呶ノウ
 冷レイ ○裂レイ ○咲サイ ○蠶サン
 ○悟ブ ○覺ケツ ○淋リン ○更セイ
 ○捌ハチ ○障ショウ ○嘲ショウ ○授ジュ
 ○駢ヘン ○探タン ○提テイ ○晒シャイ
 ○驟ソウ ○爽ソウ ○遮シャ ○潔ケツ
 (キ)之部
 基本キホン ○匱ケイ ○匱ケイ ○匡ケイ ○匡ケイ
 ○仰望ギヤウバウ ○機器キカ ○匈キョウ
 ○旌セイ ○旌セイ ○喜キ ○憂ユ ○囉ラ
 ○奇キ ○計ケイ ○凶キョウ ○凶キョウ
 基キ ○正テイ ○匡ケイ ○仰ギヤウ ○慕ボ
 ○久キウ ○延エン ○噎エツ ○噎エツ
 ○機キ ○敏ミン ○喜キ ○怒ド ○喜キ ○怒ド

最サイ後ゴ当トウ地チ方フ水スイ堂ドウ付ツキ尊ソン
 鳥トリを類ライにカウシト
 之コト如ニあまの可カまのさる
 事コトに事コトに事コトに事コトに事コト
 防バウ之シ法ホウ漬クワイ竹カ筒シヨ所トコロ之シ
 為タメ近キン村ソン数ス々ツ町チウ之シ田デン圃ボ

○ 間々ハナキ ○ 健々コロコロ ○
 凶軟 ○ 胸裏リキ ○ 惹々ニキス
 ○ 競争ラソビ ○ 癡結コロムス ○
 兇惡モノ ○ 拱手クミ ○ 登々ウツカ
 ○ 狂恩ガビ ○ 享受ウケ ○ 響音キ
 ○ 断々イヒア ○ 奇偉エグレイ ○ 匡
 濟スゲル ○ 狂奔ラシイ ○ 歇歇スナキ
 ○ 嬉戲レルム ○ 局戲チキ ○ 几上
 ツク ○ 均平ラカ ○ 曲折ガリ ○
 輝光ヒカ ○ 窮厄ナンキ ○ 記憶チキ
 ○ 起臥フシ ○ 欣并コロ ○ 揮毫カク
 共議ラウキ ○ 穢旅ビ ○ 龜
 トナラ ○ 急速チキ ○ 斬ル ○ 伏
 ル ○ 聽ク ○ 銀フ ○ 窮ム ○ 究
 ル ○ 萌ス ○ 雪ム ○ 築ク ○ 競

然發熱後一息寒頭
 痛甚夜方曉ハ为数回
 區吐一容易ナリ
 子お見くる言江酒師一
 以相後も後及る方刻
 其来知る言及る方刻

フ ○ 刻ム ○ 穢シ ○ 潔ム ○ 着
 ル ○ 疵 ○ 消ル ○ 嚴ク

(エ)之部

融和ナキ ○ 然チ ○ 由緒ス
 ○ 懶々カカチ ○ 融解チキ ○ 雄
 飛ビカガト ○ 猶豫チキ ○ 悠々
 ○ 幽閉チキ ○ 勇悍チキ ○ 幽
 室キハヤ ○ 誘掖チキ ○ 諭旨チキ
 ○ 愉快チキ ○ 遊治チキ ○ 誘
 引チキ ○ 遊泳チキ ○ 遊勝チキ
 ○ 遊惰チキ ○ 遊蕩チキ ○ 諭告チキ
 ○ 諛言チキ ○ 諭月チキ ○ 諭
 送チキ ○ 邪ム ○ 赦ス ○ 免ス
 ○ 往ク ○ 讓ル ○ 搖グ ○ 結フ
 ○ 懐シ ○ 沐 ○ 豊

○ 回 答

二即度口急病ニ
 之根症付一
 田守は
 只今
 其方

雀躍シヤクヤク○熟察ジュクサツ○馳々シシ○
 擾々シヨウシヨウ○時弊ジヘイ○時ジ
 々シ○械々キキ○時機ジキ○
 々シ○情態ジヤウタイ○攻々コウコウ○漆シツ
 々シ○循死ジュンシ○除化ジュキヤ
 々シ○灼々シヤクシヤク○徐々ジヨウジヨウ
 守衛シユエイ○叱咤シツタ○眞鑿シンサク
 澁々シヤクシヤク○主意シユイ
 事情シヤウジヤウ○焯々シヤクシヤク○華蹟ケキ
 商議シヤウギ○悉々シツシツ○
 々シ○盪々シヤウシヤウ○仁恤ニシツ
 侵襲シンシヤク○柔弱ジュウジュウ○
 々シ○粥々シヨクシヨク○綽々シヤクシヤク
 時運ジユン○種々シュンシュン○穢シ
 々シ○若々シヤクシヤク○畢態ヒタイ

今一週イマ ミウ カンの内にホシはブク復ツキ可リ
 住オリるナガラはカ保カはリ安ア神ン一ツキ
 降クダるオン思シ貸タイはチン書シヨるカタ事シケテ
 忘ワスるニチヤ事チンはシヤ謝ヤ
 忘ワスるニチヤ事チンはシヤ謝ヤ

事變シヤン○人傑ジンケツ○翔々シヤウシヤウ
 々シ○眼々ガンガン○
 々シ○侵襲シンシヤク○情誼ジヤウギ○華ケ
 々シ○循良ジュンリヤウ○習々シヤクシヤク
 〇侵掠シンリヤク○眞卒シンソク
 〇翅々シヤウシヤウ○
 〇叱責シツセキ○徐行ジヨウコウ
 〇託々トクトク○衝々シヤウシヤウ
 四通シツブツ○志氣シキ○
 〇志切シキ○
 四肢シツシ○爾後ニノチノチ○死後シノチノチ
 〇思想シヤウシヤウ○
 〇醉々シユンシユン○
 〇主張シユウシヤウ○
 〇盛々シヤクシヤク○
 〇輯集シツシツ○
 〇辛シン

○出水ミツスイをハヤ報ハヤず
 前略ゼンリヤクはカウ冬フユのト下ゲはホ雪ユキをフ
 連レン日ジツはリン雨ウはオホ大オホ堰キ川カハ
 水スイ量リヤク漸ゼン次ジ増ゾウ加カ減ゲンす
 大オホ懸ケン念ネンはトコロ念ネンはハタ果カ
 下ゲ今イマ曉ケウ奔ホン村ムラ字ジ大オホ畑ハタとトイ

勞^{ロウ}○震動^{シンドウ}○駭^{サイ}々^カ○
 衝碎^{シヤクサイ}○進取^{シンシュ}○蹴倒^{ソウダウ}
 ○癡々^{チチ}○辛酸^{シンサン}○學^{ガク}
 理^リ○指揮^{シキ}○宿志^{シュクシ}
 ○觸視^{シュクシ}○詳錄^{シヤウロク}
 肆志^{シシ}○竣功^{シュンコウ}○疎懶^{ソラン}
 ○收容^{シヤウヨウ}○殉死^{シュンシ}○執^{シツ}
 奏^{ソウ}○周章^{シュウシヤウ}○修繕^{シュウセン}
 使節^{シセツ}○刺殺^{シツカツ}○伸縮^{シンシュク}
 ○矧托^{シツトク}○伺候^{シコウ}○收拾^{シヤウジツ}
 ○登陸^{トウリク}○箴諷^{シヤンフウ}
 蹤跡^{ソウジツ}○疵垢^{シキコウ}○眞偽^{シンキ}
 ○宿弊^{シュクヘイ}○疾行^{シヤクカウ}
 社稷^{シヤク}○攘斥^{ジヤウシツ}○徇書^{シュンショ}
 ○冗官^{ジュンカン}○冗費^{ジュンハイ}○序^{シヨ}

交^{イコロ}提防^{テイバウ}法潰^{ケツクワイ}一^{クヅル}村^{ソク}
 内^{ナイ}面^{メン}浸水^{シンスイ}者^{カク}自^ジ碎^ヒ
 難^{ナン}行^{ヤク}窮^{ケイ}家^カ以^リ歸^{ソク}者^シ
 視^{シン}戚^{セキ}田^{テン}宮^{ミヤ}方^{カタチ}之^ノ退^{タヒ}去^キ也^ヤ
 人^{ジン}畜^{チク}以^{ハツ}別^{ベツ}條^{テウ}其^ニ以^テ爲^ス也^ヤ
 以^{ヒト}安^{アン}心^{シン}以^{シテ}以^テ右^ウ之^ノ以^テ教^{カウ}

列^{リキ}○督^{トク}○督^{トク}○督^{トク}
 ○自^ジ屠^ト○巡^{シュン}選^{セン}○洗^{セン}
 滯^シ○潤^{ジュン}飾^{シツ}○純^{ジュン}粹^{サイ}
 ○車^{シャ}故^コ○情^{ジヤウ}欲^{ヨク}○成^{セイ}卒^{ソツ}
 ○時^ジ運^{ウン}○奢^{シヤ}修^{シュ}○
 宸^{シン}襟^{キン}○審^{シン}問^{モン}○擬^ニ勵^{レイ}
 ○醜^ウ惡^オ○呵^カ○叱^{シツ}
 敷^シ○強^{キヤウ}○茂^{メイ}○醫^イ○
 隨^ジ○姑^コ○鎮^{ジン}○親^{シン}
 認^ニ○類^{レイ}○認^ニ○凋^{テウ}○
 澁^シ○締^{テイ}○絞^{コウ}○凌^{レイ}○
 課^カ○忍^{ニン}○暫^{シヤウ}○記^キ○
 驗^{ケン}○絀^{シュ}○繫^{ケン}○恪^{カク}○
 併^{ヘイ}○染^{セン}○閑^{カン}○靜^{ジヤウ}

以^{ハウ}報^{ボウ}道^{ダウ}以^テ右^ウ之^ノ
 ○若^{ニク}
 步^キ村^{ソク}以^ヒ被^{ガイ}害^{ガイ}之^ノ起^キ焉^ヤ
 使^{オモ}就^{モキ}之^ノ以^テ手^テ傳^ウ之^ノ以^テ使^{ヒツ}之^ノ以^テ使^{ヒツ}之^ノ
 桂^{ケイ}之^ノ以^テ宗^{ソウ}者^カ以^テ人^{ジン}
 貴^{ツカハ}之^ノ以^テ應^{オウ}分^{ブン}之^ノ以^テ周^{ユウ}

敏腕ヒンワツ ○ 寶主ホウシュ ○ 頻々ヒンヒン
 ○ 比隣ヒリン ○ 肥沃ヒヨク ○ 嘔吐ウツ
 ○ 比肩ヒケン ○ 悲嘆ヒタン
 ○ 必然ヒツゼン ○ 秘計ヒゲイ ○ 非ヒ
 ○ 譬喻ヒョク ○ 憑據ヒョク
 ○ 靡々ヒ ○ 霽々ヒ ○ 霽々ヒ ○ 霽々ヒ
 ○ 勲ヒ ○ 氷結ヒョウケツ ○ 摺ヒ
 ○ 飄々ヒョウハク ○ 飛々ヒ ○ 運迫ヒ
 ○ 肥壤ヒョウ ○ 費額ヒョウ
 ○ 錦々ヒョウ ○ 秘密ヒョウ ○ 悲ヒ
 泣ヒ ○ 比較ヒョウカ ○ 祥々ヒョウ
 非々ヒ ○ 氷解ヒョウゲ ○ 認ヒ
 非ヒ ○ 滌々ヒョウ ○ 非凡ヒョウ
 ○ 敏捷ヒョウ ○ 評定ヒョウ ○ 比ヒ
 々ヒ ○ 批難ヒョウ

遠慮エンリョ かくうらむに付て下は
 小生コシヨウ 跡アト 池チ 文モン 多タ 以ミ 爲マシ
 可カ 上ウ 先セン 者シャ 貴キ 人ジン 爲マシ
 竹タケ 杖シヤウ 其シ

○ 死者シヤ の家イ を吊トム ぶ
 先ラウ 君クン 一イチ 久ク 一イチ 以ミ 臥フ 床セウ

○ 願ケン ○ 苗裔ヒョウイ ○ 敗サイ
 ○ 評決ヒョウケツ ○ 批評ヒョウヒ
 廟宇ヒョウウ ○ 披ヒ ○ 微々ヒョウ
 ○ 渺ヒョウ ○ 渺ヒョウ ○ 彌ヒ
 漫マン ○ 微瑕ヒョウ ○ 惘然ヒョウ
 病ヒョウ ○ 影然ヒョウ ○ 美麗ヒョウ
 ○ 墨ヒョウ ○ 誹謗ヒョウ ○ 卑ヒョウ
 〇〇 糜爛ヒョウ ○ 飛ヒョウ ○ 罷ヒョウ
 〇〇 品格ヒョウ ○ 比類ヒョウ
 氷炭ヒョウ ○ 美統ヒョウ ○ 均ヒョウ
 ○ 等ヒョウ ○ 偏ヒョウ ○ 控ヒョウ ○ 翻ヒョウ
 ○ 披ヒョウ ○ 冷ヒョウ ○ 弘ヒョウ ○ 博ヒョウ
 ○ 響ヒョウ ○ 挽ヒョウ ○ 彈ヒョウ ○ 拾ヒョウ
 ○ 痿ヒョウ ○ 挫ヒョウ ○ 浸ヒョウ ○ 僻ヒョウ

一イチ 家カ は 美ミ 且ツ 生セイ 叶エフ せ 心シン 叶エフ
 逝シ 去キョ 波ハ 遊ユ 下カ 一イチ 叶エフ
 一イチ 身ミ は 非ヒ 哀アイ 一イチ 程チョウ
 心シン 家カ は 一イチ 一イチ 爲マシ 一イチ 一イチ 健ケン 康カウ
 一イチ 家カ は 一イチ 一イチ 不フ 存ソウ
 一イチ 身ミ は 一イチ 一イチ 滅メツ 一イチ 理リ

倫ニ〇竊ニ〇罪〇卑〇低シ
〇闊ク〇融ス

(モ)之部

摸倣ナラフ〇モニ能テ〇朦朧ク
〇黙々シカレ〇摸寫ワル〇目
〇黙許デコロフ〇濛々ラスク
〇悶絶ゼンルヘキ〇默然オマツテ
〇目途デア〇門閥ガヲ〇蒙昧カラサ
〇摸擬ヲフナ〇目下トコロ〇朦朧
〇摸擬チカ〇模範チカ〇模
浴ニテ〇毛頭シコ〇問訊スチ
模糊シカ〇目撃シテ〇門墻チ
専ラ〇催ス〇貫フ〇辰ル
燃ル〇悶ル〇纏ル〇洩ス
採ム〇持ツ〇盛ル〇脆シ〇

儲〇漏ス

(セ)之部

精巧イカイ〇精選ナリ〇叙述
〇翫々メア〇紹介ナリ
〇絶倫ナリ〇絶域トキキ〇青々
〇絶息ヘル〇絶交ヲハリ〇剪
載ナリ〇跡々トヤ〇聲譽ヲビヤ
〇誦責ガメ〇途々チカレ〇警
書ナリ〇跌宕シカレ〇鈔寫ガキ
〇齊整ロク〇陳々トホキ〇誦々チカ
〇召聘カヘル〇昭代ノミ
招待チカレ〇譙々コロ〇規々チ
〇消滅セリ〇硝煙チカレ
〇蕭々トホキ〇蕭々トホキ〇饒多

思オホシメシ公アキラ以イ濟セイ一イチめメ半ハン夜ヤ夜ヤ粗ソ

葉クワ打ウチ打ウチ雷ライ雷ライ前ゼン前ゼン借キヤウ借キヤウ

一イチのノ哀アイ悼タウ一イチのノ哀アイ悼タウをヲ表ヒヤウ表ヒヤウ

一イチのノ教ケイ具グ

追ツイ伸シン以イ葬サウ送ソウ一イチのノ時ジ分フン使シ者シャ

以イ漢ハン一イチのノ時ジ分フン使シ者シャ

〇回章

家カ父フ死シ亡ウ儀ギ口ク報ハウ道ダウ

一イチのノ交キョウ交キョウ交キョウ交キョウ交キョウ交キョウ

情セイ以イ紙シ面メンをヲ賜タマハ一イチのノ時ジ分フン使シ者シャ

一イチのノ感カン銘メイ以イ教ケウ一イチのノ時ジ分フン使シ者シャ

事ジ大ダイ切セツ以イ世セ一イチのノ時ジ分フン使シ者シャ

○ 嘖然 ヘツレン ○ 請願 セイガン
 ○ 霜々 シヨウシヨウ ○ 荷々 カキカキ ○ 涉
 ○ 飄々 ヒョウヒョウ ○ 樵夫 シヨウフ
 ○ 道遙 ドウヤウ ○ 消盡 シヨウジン ○ 婆
 ○ 々々 カクカク ○ 照會 シヨウヱ ○ 照相 シヨウシヤウ
 ○ 抄出 シヨウシュツ ○ 鈔撮 シヨウサツ ○ 織々 オリオリ
 ○ 踏足 フミタシ ○ 請託 セイタク ○ 誓
 ○ 約 ヤク ○ 蕩學 ドウガク ○ 贈々 オウオウ
 ○ 芋々 イモイモ ○ 聲聞 セイモン
 ○ 剪除 ケンジョ ○ 絕無 ケツブツ ○ 絶倒
 ○ 絕滅 ケツメツ ○ 精妙 セイミョウ
 ○ 薄々 ハクハク ○ 映々 エイエイ ○ 絶對
 ○ 翦滅 ケンメツ ○ 瀟々 シヨウシヨウ ○ 絶對
 ○ 儉儉 ケンケン ○ 整然 セイゼン ○ 整
 ○ 濟々 セイセイ ○ 盛況 セイキョウ

以放舍 ハツネン 之 ヲ 以 ヲ 恩惠 オンケイ 之 ヲ 供
 物 モノ 爲 トシテ 佛前 ブツゼン 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ

華儀 サワギ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ

○ 然諾 ゼンダク ○ 焦爛 セウラン ○ 淺見
 ○ 斷々 ゼンゼン ○ 魚腹 イサハタ ○ 星々
 ○ 斥候 セツコウ ○ 成功 セイコウ ○ 星々
 ○ 撰撰 ゼンゼン ○ 旌旗 セイキ ○ 淺
 ○ 識 セキ ○ 生黎 セイレイ ○ 樓々 ロウロウ
 ○ 世態 セイタイ ○ 借越 セツエツ ○ 切
 ○ 制度 セイド ○ 成否 セイヒ ○ 切迫
 ○ 戰々 ゼンゼン ○ 借修 セツシウ ○ 整
 ○ 切望 セツボウ ○ 節操 セツサウ ○ 整
 ○ 齊々 セイセイ ○ 嗶々 ヒツヒツ ○ 井々
 ○ 整頓 セイトン ○ 靜閑 セイカン ○ 井々
 ○ 焦眉 セウメイ ○ 靜閑 セイカン ○ 井々
 ○ 碩儒 セツジュ ○ 前兆 ゼンシヨウ ○
 ○ 先哲 ゼンテツ ○ 全備 ゼンビ

華 クワ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ

營業事務之部

○ 物品注文 チウモン
 過日 クワツツ 見本 ミホン 以 ヲ 送 ソウ 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ 之 ヲ 備 ツク 之 ヲ 爲 トシテ 祭
 物 サマシヤ

前途 ゼント ○ 禪悟 ゼンゴ ○ 禪悟 ゼンゴ ○ 禪悟 ゼンゴ ○
 銷却 セウキョク ○ 贅論 ゼイロン ○ 銷溶 セウロウ ○
 銷駁 セウハク ○ 踐踏 ゼンタク ○ 旋風 ゼンフウ ○
 先導 ゼンダウ ○ 恍々 ホウハク ○
 成規 セイキ ○ 尺地 セキチ ○ 撥拾 ハツシツ ○
 軟柔 ゼンジュウ ○ 靚莊 ゼンシヤウ ○ 青雲 セイウン ○
 錫識 セキシキ ○ 折衷 セツシュウ ○
 聲息 セイシキ ○ 折衷 セツシュウ ○
 鮮明 センメイ ○ 清濁 セイタク ○ 星霜 セイシュウ ○
 泉下 センカ ○ 施行 セウギョウ ○ 寂寞 セキバク ○
 切礎 セツソ ○ 赤貧 セキヒン ○ 察 セツ ○
 生辰 セイシン ○ 迴 ゼン ○ 迫 セツ ○
 攻 セム ○ 狹 セツ ○

(ス)之部

水口 スイカウ ○ 衰弱 スイジャク ○
 須用 スヨウ ○ 寸斷 スンダン ○ 寸裂 スンレツ ○
 水師 スイシ ○ 衰頹 スイタイ ○
 推考 スイカウ ○ 推及 スイキヤク ○
 推考 スイカウ ○ 樞機 スヰキ ○
 樞密 スヰミツ ○ 樞密 スヰミツ ○ 數多 スヰタ ○
 推察 スイサツ ○ 醉醒 スイセイ ○ 垂 スイ ○
 懸撫 ケンブ ○ 瑞祥 ズイシヤウ ○
 隨意 ズイイ ○ 耕 クウ ○ 漉 ロ ○
 吸 スイク ○ 摺 ズ ○ 濟 スイ ○ 過 カ ○
 救 スイク ○ 頗 ズ ○ 雪 スイ ○
 携 スイ ○ 濯 ズ ○ 梳 スイ ○
 透 スイ ○ 隅 ズ ○ 健 スイ ○
 總 スイ ○ 尖 スイ ○ 都 スイ ○
 直 スイ ○

前途 ゼント ○ 禪悟 ゼンゴ ○ 禪悟 ゼンゴ ○ 禪悟 ゼンゴ ○
 銷却 セウキョク ○ 贅論 ゼイロン ○ 銷溶 セウロウ ○
 銷駁 セウハク ○ 踐踏 ゼンタク ○ 旋風 ゼンフウ ○
 先導 ゼンダウ ○ 恍々 ホウハク ○
 成規 セイキ ○ 尺地 セキチ ○ 撥拾 ハツシツ ○
 軟柔 ゼンジュウ ○ 靚莊 ゼンシヤウ ○ 青雲 セイウン ○
 錫識 セキシキ ○ 折衷 セツシュウ ○
 聲息 セイシキ ○ 折衷 セツシュウ ○
 鮮明 センメイ ○ 清濁 セイタク ○ 星霜 セイシュウ ○
 泉下 センカ ○ 施行 セウギョウ ○ 寂寞 セキバク ○
 切礎 セツソ ○ 赤貧 セキヒン ○ 察 セツ ○
 生辰 セイシン ○ 迴 ゼン ○ 迫 セツ ○
 攻 セム ○ 狹 セツ ○

○ 答

每度は海文とては愛顧
 深謝は各面より越え品
 葉三様の目下品切は
 復文は各々万代に於て
 切は指し各々通運便は

石鹼之内甲種第一種
 葉五種と各六枚おぼ
 至急は費送て下度則
 右代價として金指の圓五
 拾錢三井銀行為替を以
 送て下度

〔書牘要語〕

啓上ノ類

寸楮拜呈	一筆啓上
寸紙奉呈	一書肅呈
寸毫捧啓	一筆擧上
寸書敬上	一翰拜捧
寸翰獻呈	一翰擧上
尺素紳上	魚函謹呈
尺鯉拜叙	手牘恭呈
尺楮奉呈	嗣布敢稟
尺箋敬稟	賤翰拜演
華翰寄呈	愚墨肅白
短札恐呈	蕪牘拜叙
納翰裁呈	片札陳啓
柔素拜捧	手牘捧啓

斐函謹敬	尺一陳上
柔尺紳上	陋章肅啓
恭捧片書	雁書敢稟
片楮捧敬	短楮拜啓
卑箋虔呈	恪奉拙牘
風便拜陳	嗣布恭叙
手葉寄上	恭脩片書
敬呈寸箋	肅白敬叙
部牘投音	短簡肅白
手納奉敬	絨牘恭叙
謹具一函	一翰虔呈
肅奉寸緘	郵便謹奉
愚札跪上	短刺敬上
片楮送晉	片札拜陳

拜讀ノ類

貴送送作口品切分十四五
 早中未烈若者付着
 次第急送付了
 為進了口圖向被仰付度
 手紙 代價を請求する文

先取引取被下小物は
 價目未定は拂下り
 口約事々々河は沙汰も
 無事實事融通也
 折柄為る事々々常業仕
 序次第不故は送し金を二日

雲箋開展	尊翰披見
惠教拜誦	玉章拜吟
鳳箋謹讀	華墨仰觀
誦翰跪誦	雲翰寵賜
藻翰排封	珍翰捧誦
教翰拜見	台翰恭誦
謙翰展覽	展翰謹讀
郁翰開展	尊翰披見
花翰齋誦	柔雲排緘
朶翰周覽	翰墨欽閱
五雲伏讀	義墨敬承
芳墨拜吟	華墨奉讀
寶墨披吟	惠字謹誦
示諭開展	愛諭拜覽
承諭排緘	玉箋拜閱

子秋之如く存至何年
 事情は情に安んずる
 拂ふ様も宜し
 ○ 色も
 事来るも起るも
 拂ふ遅滞は
 何れも

玉章拜見	鯉素拜誦
琅玕拜祝	誦章欽讀
誦音捧展	教帖轉讀
賜教伏讀	惠割披見
華墨敬承	雙麟即閱
台割齋讀	貴札周覽
賜教敬承	監嗽排視
薰盥開緘	拜誦欣々
今接手教	垂命恭誦
高喻拜覽	垂示落手
玳東披閱	雅章拜披
義墨拜承	玉韻仰觀
彩翰奉讀	芳墨接手
潔指開緘	琅翰拜吟
珍割跪讀	露章落掌

情は情に安んずる
 事来るも起るも
 拂ふ遅滞は
 何れも

拆封披吟
今接飛札
搦讀如面
洗手敬讀
問候類

恰如面語
恭領尊諭
華服到來
貴命謹承

○一月
時下猛烈
北風西寒
酷寒之候
奇寒凜烈
寒威侵入
隆冬苦寒
祁寒凜々
寒光凜烈
霜天地凍

其寒之候
天勢暴寒
嚴寒之候
寒氣侵入
凍粟生肌
積雪凝寒
寒威難堪
奇寒凜冽
隆冬銳烈

風霜正繁
勁風似鋒
凍食如鐵
地霜天凝
霜威徹骨

檐氷如針
奇寒冒骨毛
烈寒降々
凍寒暗々
嚴寒之候

○二月
春寒之候
稍々開氷
輕寒未去
喧寒不常
梅雪未洋
餘寒未殄
日催暖氣
追日暖融
霜威猶嚴

殘寒尙強
余寒之候
天氣稍溫
寒烈未祛
殘寒尙強
輕寒難去
天氣漸和
春色日浴
寒陰無度

之露は猶露も所は子
次第元は送油は作は程
高き合は新は成は
三月四日 伊執カ屋

紅得園屋様

○注文の品を贈る

先般は注文品ありの旨
承付は付差上りは名もなき
合見積よりハなさありと
送費を要し上等で出
本上りは一貫の契約の價格
十二トツ
以後

○三月
 春暖漸催 春光和暢
 日催隨溫 稍有春意
 寒退暖熙 陽和漸均
 天氣稍暖 寒暖不齊
 日催隨華 日華暴眩
 隨寒不恒 追日暖
 漸々通正 春色日浴

○四月
 暖之和候 春日載陽
 春氣悠々 春色滿郊
 春光燦然 春色闌珊
 春色惱人 風日惱人
 春色婉々 日增暖
 膏雨催花 百花繁亂

特別之口愛形を以て續く
 以て海文之程編ま布以
 有得半之度及び以て
 再探

○答
 以申越之極り以て後以て

○五月
 清和之節 庭橘已熟
 槐夏風清 梅月酸暑
 春華將闌 簾箔蕭々
 清和之候 俄催薄暑
 南解解雲

○六月
 麥秋之候 黃梅雨濕
 南訛梅天 淑雨纏々
 向暑之節 薄暑之候
 梅雨之候 梅雨未晴
 一雨入梅 炎威日加

不之通る縁を以て以て派
 以て未満是に以て以て
 以て未好に以て以て
 威に以て以て以て以て
 精に以て以て以て以て
 價に以て以て以て以て

梅霖之候 薄暑之候
梅雨漂々

○七月

消金之候 盛暑之候
暑威倍嚴 炎塵如瀉
炎氣如燒 酷暑之節
嚴暑如燬 赤日熬々
炎蒸若人 極暑難凌
炎源苛人 熇暑逼人
炎熱難堪 煩暑酷熱
空中如燒 火雲礫石
屋下如蒸 暑氣煩擾
炎帝若人 炎威熬々
熱氣釀病 炎帝行奇
火雲所々

畏日如燒

炎甚日加

○八月

聞秋之節 暑氣稍減
殘暑未去 炎未除
餘熱未退 秋暑漸退
秋暑猶烈 炎威漸減
殘暑未解

○九月

漸冷氣催 秋氣既催
晨夕稍冷 秋容漸爽
秋冷既來 早冷乍動
金風存爽 新冷入墟
炎塵盡拂

○十月

秋冷已增 冷氣之候

渡間の香取の下の米

谷のりりり

○送金通知

益の取立の事

田の穀送りの債物の仕

和重の百五拾圓の三友合

資會社銀行部が替ラ

い送の枝の下の査収

下被下の生をの送の下の案

内迄如けの下の器具

○返事

貴翰敬讀仕尊座

秋意稍深 萬林染紅
 冷氣稍衰 金氣漸扇
 冷氣甚敷 秋色稍佳
 秋情快適 秋草覺冷
 秋氣骨微 晚秋冷寒
 清風乍來 秋意全來
 風物蕭瑟 早寒侵入

○十一月
 寒冷稍催 向寒之候
 冷氣倍加 草木變衰
 霜露愈深 時雨風降
 液雨寂寥 寒冷倍慕
 風物凄緊 露霜變

○十二月
 風氣凜烈 寒氣相逼

此は多祥と清榮と段
 奉敬賀小仕初重早速
 以回送被下難と頂戴
 傳尚進下口月立口用仰
 付し及も然清小口受け
 此は多祥と清榮と段
 奉敬賀小仕初重早速
 以回送被下難と頂戴
 傳尚進下口月立口用仰
 付し及も然清小口受け

寒威稍烈 甚寒之候
 寒冷乍至 辰下冷甚
 酷寒之候 四序終
 殘臘之節

起居類
 座臥安寧 起居安体
 動止洪福 動靜安裕
 貴眷清健 眠食安泰
 尊体壯寧 動履安康
 起居清適 福趾亨嘉
 益御盛榮 倍御清勝
 貴家堅壯 貴家萬福
 興居靜康 吟況多瑞
 起臥清裕 尊下安逸
 壽長多福 華家盛祥
 近況如何 千祥万福
 座臥康裕 動止如何

○賣捌を依頼
 祭鋪出送し金物類
 送來し粗製品と異り職
 工材料等送し改良を施
 一精進し上業賣付し付
 進し諸方より口海又も進し

益御清榮 萱堂益佳
 足下堅強 益御昌榮
 御盛福 御安泰 御安全
 御盛榮 御清適 御泰然
 御靜安 御佳勝 御安優
 御精嘉 御恬康 御康寧
 御勝常 御佳健 御堅固
 御壯康 御平善 御鴻福
 御壯剛 御靜作 御納福

慶賀類
 拜祝 拜賀 拜嘉 拜慶
 欣賀 飲慶 忻祝 恐賀
 懽祝 恭壽 慶賀 敬賀
 慶悅 慶祝 祝賀 祝壽

當方無事 一同無異
 無事暮居 一同無異
 依然消光 依然弊居打掃

一統如故 老少無恙
 無異消光 圓樂送光
 徒消光陰 依奮健全
 一統無變 眠食謹常

御安心類
 御放慮 御休心 御放思
 御休神 御省念 御拋念
 御省慮 御放神 御裕慮
 御寬慮 御投念 御綏神
 御消慮 御寧意 御靖意
 御優慮 御消懷 御降心
 御安堵 御休案 御拋懷
 御慰懷

御無沙汰類
 爾久潤 爾後甚遠

好伴 是更け居に就るは
 一層奮奮茂は敷路を擴
 張は度貴地は未は買物
 店も早もはるは平は店
 於るは敷買お敷度
 企望ははるは者ははるは
 子

速子代を是業一業事
 協議を是子にせり
 本口何を一書揮は
 州に備
 ○返物
 生家は持製を母物

長絶尋問 ナガクツクシヨク 久遠座下 ヒサシヨク
 存問久絶 シヨクニキフツク 疎來疎遠 ソライソク
 久失音信 ヒサシクシヨクニシヨク 暫違眉宇 シヨクニシヨク
 日缺伺候 ヒシヨクニシヨク 久違馳問 ヒサシクシヨク
 久闕奉候 ヒサシクシヨク 爾來疎契 シヨクニシヨク
 平去阻絶 ヒサシクシヨク 累日阻見 ヒサシクシヨク
 暫不接尊顔 シヨクニシヨク 疎信ニ打過 シヨクニシヨク
 暫缺二伺候 シヨクニシヨク
 御免被下類 ミマユケニシヨク
 御海容 御仁赦 ミウミヤクニシヨク 御高免 ミタカユケニシヨク
 御昭察 御賢察 ミサトサツニシヨク 御亮察 ミヤウミヤクニシヨク
 御允容 御容免 ミウケユケニシヨク 御寛免 ミウカンユケニシヨク
 御仁免 御宥恕 ミニムケユケニシヨク 御恩赦 ミオンケツニシヨク
 御廣容 御寛宥 ミウヒロユケニシヨク 御垂察 ミウシメサツニシヨク
 御於宥 御垂恕 ミウオユケニシヨク

一風 イツフウ 上 ウヘ 高 タカク 伴 トナリ 傳 ツタヘ
 地 チ 類 ルイ 貴 キ 中 ナカ 傳 ツタヘ 承 ウケ 社 シャ
 唐 タウ 貴 キ 抄 セウ 以 イ 高 タカク 雅 ヤ 儀 ギ
 當 タウ 店 テン 以 イ 水 ミヅ 濱 ハマ 打 ウチ 交 マシ 交 マシ 以 イ
 一 イツ 早 サウ 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ
 代 ダイ 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ 猶 ナホ 更 サラ

進呈類 シンテイライ
 拜呈 晉呈 贈呈 敬上 ハイテイ シンテイ ズンテイ ケイジョウ
 捧呈 獻呈 配呈 分呈 ホウテイ ケンテイ ハイテイ ブンテイ
 呈進 饋進 敬獻 テイシン ケンシン ケイケン
 些少類 シヤウライ
 薄物 非物 粗末 鹿品 ハクモノ ヒモノ コソマツ シカヒン
 淺少 瑣少 寡少 粗薄 センシヤウ ソウシヤウ コウシヤウ コソハク
 微少 ミウシヤウ
 御受納類 ミウウケノウライ
 御加納 御象納 御叱留 ミウカノウ ミウゾウノウ ミウシロウ
 御莞納 御笑收 御笑入 ミウワンノウ ミウシヨウ ミウシヨウ
 御哈留 御整納 御晒收 ミウハロウ ミウシヨウ ミウシヨウ
 御叱納 御笑留 ミウシロウ ミウシヨウ
 欣喜類 キンシライ
 欣躍 欽悅 恭悅 キンダツ キンエツ コウエツ
 欣暢 抃舞 忻愉 キンチャウ ベンブ シンユ
 欣然 欣舞 怡悅 抃喜 キンゼン キンブ イエツ ベンキ

好都合 カウツク 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ
 開業披露 カイゲフヒロウ
 念 ネン 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ
 整 テイ 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ
 西洋小間物 サイヤウコウマモノ 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ
 開業仕 カイゲフシ 以 イ 其 ケイ 物 モノ 信 シン 度 タク 以 イ 以 イ

二仲	鳳聲	傳信	愛重	自愛	自重類	恐懼	九頓	草陳	晚白	俯白
再啓	德聲	傳達	愛護	保養	自重類	懼縮類	拜白	便首	畏言	未書
再伸	轉音	傳語	慣重	攝衣	自重類	懼縮類	怖伏	草愈	停筆	敬稟
追白		寄聲	衛護	調養	自重類	誠懼	謹拜	不稟	頓伏	蹲拜

傳聞行々早々聞合々知
 今々事實之別段之都合
 乃乃海小舟々全工場
 都合之解備後々事々
 明白之あ方々右々者々
 以之入之由之々々々

侍史	案右	親展	貴下	閣下	座下	傍書類	奉酬	卒復	答謝	報答類	陪從	陪扈	復白	副啓	二白	二啓	再神
執事	文兒	平安	卓下	榻下	案下	傍書類	敬回	速報	敬復	報答類	陪行	踵行					
侍側	泰平	要用	足下	膝下	几下	傍書類	裁答	裁答	拜酬	報答類	跟從	同伴					
研北	台座	至要	平信	尊下	机下	傍書類	敬酬	敬酬	貴答	報答類							

右日通報
 ○答
 當方より小意外之口
 音々河之職々儀々々
 以親心情之心配之深謝
 後工場之被備者之既未品

乃府	令尊	嚴父	廼翁
椿府	尊翁		
我カ父ノ稱	家父	家尊	家君
家父	家嚴	家君	家翁
野父	家嚴	老父	爺父
先父	故翁	府君	
亡父	老人		
他母ノ稱	令慈	令堂	令尊
令慈	令堂	令尊	賢母
令堂	壽母	聖善	廼母
母君	尊堂	尊堂	
己ノ母ノ稱	孺人	慈萱	老母
孺人	慈萱	老母	阿母
慈母	家慈	膝前	家婢
先妣	先母		
他子ノ稱	龍子	令肖	令嗣
龍子	令肖	令嗣	賢息

梅原生
 總合事務所
 中

○工場首長技師

彌以安事者加笑以情生

東新築住居山王場所今

秀子	令子	掌珠	蘭玉
令息	子息	象賢	佳兒
郎君	英兒	龍玉	愛子
桂子	麟兒	秀郎	令郎
玉樹	英息		
我カ子ノ稱	野息	愚息	小頑
野息	愚息	小頑	阿兒
犬子	賤息	蠢息	豚兒
魯豎	劣息	賤兒	頑童
小蠢	頑息	鄙息	
他娘ノ稱	愛玉	令嬢	令愛
愛玉	令嬢	令愛	愛秀
令玉	令嬢	蘭愛	賢嬢
令姐	愛女		
自ノ娘ノ稱	小女	賤女	阿女
小女	賤女	阿女	少女
拙娘	阿嬢	弱女	鄙娘

後切作工付奉る十五日を志
 開業して是より仕度就て何
 等の及も是より得る程
 酒進む仕度及る月の平
 前十時迄先奉る下敷
 待の尚甫後儀を之増

自妹ノ稱	小妹 野妹 家妹 女弟
他妾ノ稱	令寵 令可 成寵 愛房
麗房	令妾 寵妾
自妾ノ稱	側室 賤妾 小妾 野愛
餘室	婢妾 旁妻
他婿ノ稱	佳婿 令婿 門婿 東垣
嘉婿	英婿 賢垣 氷清
嬌客	尙賓
自婿ノ稱	子婿 小婿 劣婿 女夫
賤婿	拙婿
他總ノ稱	

傳 輔 之 居 以 後 之 駮 也
 厨 下 之 事 一 以 口 傳 之
 擇 復
 ○ 總 合 之 加 入 之 動 也
 前 之 省 略 以 海 怨 之 宗
 當 總 合 之 儀 法 未 之 鬼

令慈	令郎 令似 賢似
令家婦	賢家婦
人ノ使ノ稱	貴价 貴使 貴伴 尊伴
貴役	來价 來使
自ノ使ヲ稱ス	小使 下走
小价	賤价 小使
若奴	端价 厮養
異名	
(一月)	初月 令月 端月 睦月
新正	青陽 歳首 履端
(二月)	如月 麗月 仲春 季冬
暮冬	梅見月
(三月)	彌生 王春 春分 櫻月

角 不 老 頑 之 有 名 也
 不 有 等 微 力 之 務 一 諸
 事 改 且 付 之 付 之 以 及 之
 同 業 者 之 便 利 利 益 也
 謀 之 及 之 之 此 際 之 加

(四月)	規春 孟春	卯月 餘月	芳春 中春
(五月)	清明 穀雨	立夏	仲夏 殿春
(六月)	竹秋 殘春	仲夏 殿春	仲夏 殿春
(七月)	麥秋 芒種 首夏 孟夏	水無月 潤月 火月 日月	常夏月 季夏
(八月)	涼月 仲暑 盛夏 文月	晚夏 桂月 壯月 葉月	秋月 亢陽 林鍾

ハ被^ニ奉^{コウキヤウ}ト^{コウキヤウ}出^シ共^ニ為^ル以^テ書^ス
 カ^{リヨク}ノ^{ホド}様^ニ初^{セツ}澄^{バウ}以^テ依^リて^{ヨツ}改^メ
 正^キ規^{ヤク}約^{ヤク}書^{ヤク}お^ッ深^ッ此^{ダン}般^エ以^テ
 貴^キ之^イ名^ニ以^テ家^ニ具^ス
 追^{ツイ}伸^{シン}以^テ追^{キン}信^{バウ}令^ニ業^ニ者^ト示^ス
 可^{ニク}母^{ナル}以^テ勸^ク誘^{イウ}ラ^ト後^{ツク}之^ニ加^ス

(九月)	長月 秋分 菊月 蘭秋	陽月 清秋 八春 凌秋
(十月)	霜月 暮月 復月 神樂月	秋晚 殘秋 季秋
(十一月)	抄月 臘月 終月 除月	嚴月 極月 蒨晚 立冬
(十二月)	玉兔 銀鈎 玉輪 嫦娥	玉盤 氷輪 大陰 兔光
(日)	赤鳥 金鵝 朝暉 陽精	靈障 新嶺 紅鏡 太陽

○ 若
 入^ハ之^ニ様^{ヤウ}以^テ力^ニを^シ難^シ以^テ
 采^ダ雲^{ウン}お^ハ浦^{シヨウ}今^{コン}般^{パン}以^テ後^{ツク}之^ニ加^ス
 疾^ハ風^{フウ}を^セ艾^{チヨ}除^キ以^テ規^{ヤク}約^{ヤク}以^テ改^メ
 正^セお^ハ承^{オモ}以^テ起^キ以^テ勤^{キン}勞^{ロウ}以^テ程^{ホド}
 深^{シン}河^カ以^テ力^ニを^シ得^ル加^ス以^テ信^{シン}

金鑑	旭陽	烏曜	朱義
(雲) 鶴毛	氷花	六花	玉粒
瑤華	玉英	鷺毛	碎銀
風花	如山	水舅	
(天) 木鶴	大空	蒼穹	大鈞
雲漢	翠空	九霄	日路
(地) 坤元	山趾	大塊	地軸
黃輿	坤靈		
(筆) 文鋒	毛穎	兔毫	霜毫
雲管	龍管	兔毫	霜毫
(硯) 墨池	文池	魯石	墨河

以照會... 強固... 念... 何... 念... 面...
セウクワイ サレクダレウシヤウ クミアヒ
キヤウコ モト ノゲ トコロ
ジウライ ゴト ジツ
ナシラ リ エキ ザン
ナシ ホ子 フリ
シヨククン ホ子 フリ

研鵲	壁友	居獸	
(墨) 松煤	油龍	香壁	玄泉
烏丸	龍香	麝松	
(紙) 竹帛	文畝	雲漢	牋壁
(扇) 團翼	九華	白羽	回風
(錢) 家玉	寶輪	鵝目	孔方
(杖) 鳩杖	扶老	玉枝	靈壽
(盃) 玉斗	金螺	玉海	鏡盤
羽觴	玉卮		
(劍) 霜刀	干將	吹毛	秋水

究全... 且... 告... 會... 生...
シロクン ハカ サツノシ クワイ ハカ
カツモ コリ ホイ クワン
コク ソノ ケツクワ オツ テ ソウ
クワイ セツ ハカ コク ハカ
コタ フク

逸民	仙姿	木母	(梅)	翠袖	青士	(竹)	龍骨	枯龍	(松)	雀舌	(茶)	露芽	禍泉	鞠生	美祿	(酒)
玉魄	寒英	氷肥	氷肥	湘孫	高節	高節	虬枝	霜傑	霜傑	紫荷	雲液	雲液	酉聖	紅友	雲泉	雲泉
縞花	雪尊	玉骨	玉骨	化龍	碧玉	碧玉	木公	木公	木公	雲脚	醒媒	醒媒	掃愁帚	歡伯	狂樂	狂樂
縞葩	雪香	雪魂	雪魂		此君	此君	蒼髯	蒼髯	蒼髯	乳花	乳花	乳花	瓊蕊	瓊蕊	瓊蕊	瓊蕊

○見本にて交換を早送る

秋冷は廣益は清涼なり

賀以徳馨は時年未蒙

遠くは怒りは物品数種

今回は本より早送りに

間は香ぬより感はるる

命絲	(柳)	輕薄花	(桃)	緋紅	(牡丹)	草芙蓉	淨友	玉冠	(蓮)	秋香	風標	獨秀
弱郎	弱郎	洞中仙	洞中仙	鼠姑	鼠姑	君子花	香苞	荷縫	節花	女華	團盈	節花
白綿	白綿	助嬌	助嬌	天香	天香	仙葩	仙葩	仙葩	南陽	隱君子	晚英	南陽
秋蜂	秋蜂	五木精	五木精	國色	國色	碧圓	碧圓	紅瓏	草黃	金鎖甲	日精	草黃

下被下は就るは貴家口度

賣る品は見本より早送りに

格文は早より早送りに

追々数節はお向い

本年は十分賣込に度

精神は早より早送りに

(鷺)	金衣	黃鳥	妙音	黃鸝
(鷄)	朱翁	花冠	錦毛	可晨
(雁)	啓關	蜀雉	勃公子	
(鶴)	雲侶	寒客	翁雞	孤鳴
(鵲)	舞巾	仙客	丹頂	仙禽
(鵝)	杜宇	冤禽	帝恨	不如歸
(蝶)	春駭	風車	飛錢	傳粉郎
(蟬)	齊女	蟾蜍	送秋	崔豹
(螢)	冷火	流火	夜光	宵蠋

不備

○答

以熟切之貴書為持讀傳
 所送之及之身本如正之
 手付貴命之物品多々
 中一日送付之
 上言

(犬)	命蕃	黃奴	豺狗	獵子
(牛)	太武	咩力	夜星	龍頭
(馬)	追風	雷蹄	天駒	

○記事門

牡丹園ノ記

吉田崎洲

古ニ曰ク子ニ黄金滿願ヲ遺
 スヨリ一經ヲ教フルニ如カ
 スト、家訓ノ止ム可カラサ
 ルヲ言フ也、善哉、宣尼詩禮
 ノ庭訓、三公ヨリ重ク、温
 公清白ノ家法、万古ニ過ク
 ルヤ、古人ノ清福ヲ子ニ遺
 シテ、濁福ヲ以テセサルコ

た様は、
 品々及之の貴品多々
 契書、
 力お願、
 耳振、
 新装、
 技、
 中、
 上言

○新装品々技

高瀬石涯

瀧洞大城ノ北二里ニ在リ、蓋シ其地王子村ニ属ス、東ヨリシテ來ル者ハ、王子神祠ヲ經テ瀧洞ニ至ル、南ヨリスル者ハ之ニ反ス、余鈴木仁卿ト南ヨリシ迷フテ路ヲ失フ、乃チ亦神祠ヲ先キノス、祠下一水環テ流レ、極メテ駛、即チ瀧洞ノ流ナリ、板橋ヲ渡リ、左折行クヲ數十歩、路ノ左ニ磴道アリ、之ヲ登リテ祠側ニ出テ、穿テ祠前ニ出ツ、行クニ數百歩、右ハ則平野曠曠、左ハ則密林陰翳、鏘然流泉ノ音ヲ聞ク、泉音ニ隨テ疎林ニ

秀新製石織物
 採見は至極結構
 購求後及存片
 時未だ多数は
 起る趣
 及深山
 織物
 採見
 購求
 時未
 起る
 及深
 織物

入レハ、則丹楓千株、霜ニ酔フ、此ヲ瀧洞ト爲ス、紆餘シテ下リ、右折シテ水涯ヲ行クニ二十歩計リ、一堰アリ、竹欄ヲ崖ニ架シ、茶餅ヲ售ル、筭据シテ憩フ、會々日午ヲ下ル、栗遠山某南路ヨリ來リ、掌ヲ抵テ歡ヲ叙シ、相與ニ欄ニ憑リ眺、瀾スレハ水ノ廣サ六七歩、蒼鬱深沈、聲ヲ爲サス、小橋アリ架ス、前岸古寺アリ、寺下斷崖數十尺、小瀑深々、密箝中ヨリ噴出ス、匯テ澗ニ入ル、余衣ヲ攝ケテ此ニ至リ、鹽嗽ス、味極メテ清

送
 海
 目
 別紙
 報
 送
 海
 目
 別紙
 報

日用雜事之部

列、而シテ丹楓影ヲ澗水ニ
 倒ニシ、夕陽映射シ、紅波
 岸ニ漲ル、時ニ爽風一陣、
 山ノ西南ヨリシテ來ル、
 葉紛飛シ、青苔絲水ノ間ニ
 乱點ス、恰モ落花ノ東風ニ
 月ノ暮ニ舞フカ如シ、蓋シ
 東京ノ楓ヲ賞スル者、海晏
 寺ヲ以テ稱首ト爲ス、而シ
 テ澗澗之ニ次ク、然ル彼ニ
 ハ明麗ヲ以テ勝レ、此ハ幽
 邃ヲ以テ稱セラル、余性隱
 幽ノ僻アリ、故ニ此ノ遊最
 モ懐ニ適ス、乃チ記シテ以
 テ余ト僻ヲ同フスル者ニ諒
 ク、

○久々逢ふ人子贈る

久々存問、禮を飲き、
 澗澗、後日海客一被
 トハ、生後日異状、起
 居被遊、哉、幸、事
 消光、み、万、保、休

新瀛遊園記

秋月種樹

嗚呼園遊フヘキナリ、
 其樹ハ、酸素ヲ噴キ、
 餘乎タル其ノ境ハ大氣ヲ通
 ス、螺徑歩スヘク、沼沚
 ルヘク、亭榭憩フヘク、橋
 梁倚ルヘシ、以テ其ノ精神
 ヲ養ヒ、以テ其身体ヲ健ニ
 ス、神ノ養、体ノ健、勉強
 ヲ資クル所以ナリ、夫レ人
 ノ世ニ在ルヤ、貴トナク賤
 トナク、皆力ヲ以テ自食シ、
 而シテ人ニ求メス、貧トナ
 ク富トナク、天下ヲ以テ己
 カ任トシ、而シテ、衆ニ讓
 ラス、蓋天下ハ人ヲ以テ立

意、事、業、
 存、外、在、為、尚、哲、
 以、沙、法、任、官、志、
 所、客、救、及、少、閑、隙、
 得、次、弟、お、超、日、向、
 生、以、疎、遠、以、健、力、如

ナ、獨り政府ノミヲ以テ立
 タス、故ニ一人一日ノ遊惰
 業ヲ廢スルハ即チ天下一人
 一日ノ損傷ニ係ル、若シ幾
 千人幾百日ノ遊惰業ヲ廢ス
 ルヲ以テ之ヲ計ラハ、則天
 下幾千万ノ損傷ヲ招カン、
 以テ交際スヘカラス、以テ
 戰闘スヘカラス、地ノ大ナ
 ル、米魯ノ如シト雖モ、何
 ヲ東洋ノ一孤島ニ異ナラン
 ヤ、物ノ早ナル、英佛ノ如
 シト雖モ、北海ノ僻地ニ過
 キス、故ニ余常ニ謂フ、開
 化ノ本ハ勉勵ニアリ、勉勵
 ノ本ハ身体ヲ健ニシ、精神
 ヲ養フニアリ、遊園ノ設、

影は度々おぼろ

○答

紙面を掃く大又潤

情を慰く其方より

形は度々おぼろ

其心は度々おぼろ

其レ止ムヘケンヤト余嘗テ
 海外ニ歴遊ス、皆遊園アリ、
 林樹茂密、沼池澄瑩、異芳
 發シテ鮮麗、佳木秀テ、掩
 映ス、貴族往キ豪商馳ス、
 美女玉ノ如ク、車馬織ルカ
 如シ、恍トシテ疑フ人世間
 亦何ノ遊觀アリテ以テ此ニ
 代フヘキヤト、而シテ荷蘭
 ノ制、博物館動物園ヲ其中
 ニ寓シ、運動ノ間、古今ヲ
 證シ、物理ヲ極メシム、最
 モ簡且該トス、今茲余新瀉
 ニ遊フ、縣令楠本君應精治
 ヲ圖ル、凡冗費ノ改ム可キ
 モノハ亟ニ之ヲ改メ新利ノ

家族一頁を掃く大又潤

神を慰く其方より

形は度々おぼろ

其心は度々おぼろ

懶惰を掃く大又潤

其心は度々おぼろ

興スヘキ者ハ、速ニ之ヲ興ス、縣ノ西南ニ隙地アリ、周圍寛宏、眺曠明瀾、信水流ヲ引キ、彦山青ヲ送り、天然ノ風景、卷キテ園土ニ供ス、詢ニ形勝ノ區タリ、頃政府ニ請ヒ以テ遊園トス、方ニ土工ヲ興シ、略荷蘭ノ制ニ依做ス、乃衆ニ告諭シテ曰ク、此園ニ遊フモノ、運動ヲ以テ務トシ、廢業ヲ以テ恬トスルコトナカレ、汝ノ精銳ヲ蓄ヘ、汝ノ職業ニ施セト、是ニ於テ、治下ノ民、起奮勉勵、各其職ニ服セサル莫シ、夫レ越後ハ山ヲ負ヒ海ニ枕ム、若

シ夫レ鑿磯收畜整港修路ノ類、州民能ク勉力從事シ、縣令ノ意ヲ奉セハ、則越後全州一百里内ノ民力、盡ク擧ラレ、推シテ之ヲ日本全國三千万ノ人民ニ及ボシ、皆越人ノ如クセシメム、則三府六十縣ノ民力盡ク擧ラシ、夫レ此ノ如クニシテ、然シテ後以テ交際スベク、以テ戰闘スベク、以テ各國ト並ヒ立ツヘシ、遊園ノ設其レ止ムベケンヤ、縣令余ニ屬シテ之カ記ヲ爲ラシム、余縣令ノ勵治、州民ノ協力ヲ美シ是ニ於テカ書ス舟遊ヲ記ス

此ノ事業ハ、度々此ノ事ハ、
 遊園ノ事ハ、度々此ノ事ハ、
 夫レ吾人ノ志ヲ、
 移居ヲ志ス
 縁トシテ、
 此ノ事ハ、
 夫レ吾人ノ志ヲ、
 移居ヲ志ス
 縁トシテ、

此ノ事業ハ、度々此ノ事ハ、
 遊園ノ事ハ、度々此ノ事ハ、
 夫レ吾人ノ志ヲ、
 移居ヲ志ス
 縁トシテ、
 此ノ事ハ、
 夫レ吾人ノ志ヲ、
 移居ヲ志ス
 縁トシテ、

林鶴梁

天龍川ノ流急、上流最モ甚
 シ、余嘗テ舟ヲ命シ、舟明村
 ヲリ横山村ニ至ル、時ニ雨
 後水肥ヘテ流益急ナリ、舟
 人棹ヲ執リ、力ヲ窮メテ之
 ラ撐フレトモ寸ヲ進テ尺ヲ
 退キ、終ニ達スルコト能ハス、
 蘇東坡云フ、書ヲ學フハ急
 流ヲ泝ルカ如ク、氣力ヲ用
 ヒ盡セトモ、舊所ヲ離レヌ
 ト、余始メ坡論ヲ以テ誠ニ
 然リト爲ス、今此河ヲ泝ル
 ニ、嘗ニ舊所ヲ離レザルノ
 ミナラズ、又舊所ヲ退ク、
 但此際兩岸ノ絕壁奇勝言フ
 ヘカラス、其一處ニ進退ス

○ 答

尊出揖ソシヨハイエツ足付カツ名留ナリウ所
 可シヨモウ家カ屋ラク日ニ入レ行ク
 梅ウツ子シ命メイ室シ名ナ留リウ所所
 時ジジツシヤウチ知チ技キ片ヘ片ヘ
 子シ傳デン者モ上ウ台ダ台台

ルニ因テ、之ヲシユウクワン從ス規ルスルヲ
 得トタリシハ、亦ホシマ、ニスル念ム弘クノ賜ナナ
 リ

折花塚碑記

龜山節宇

嗚呼此レ南朝ノ忠臣片岡八
 郎君イノコ埋イノコ骨ノ所ナリ、元弘帝
 ノ笠置ニ狩スルニ當リテ
 ヤ、護良親王南都ニ遁ル、
 君及矢田彦七等從フ、遂ニ
 共ニ道士ノ裝ヲ爲シ熊野ニ
 走り、大和十津川郷ニ出ツ、
 郷士殿野兵衛竹原八郎迎ヘ
 テ之ヲ奉ス、居ルコト半載、
 賊來リ逼ル、君乃チ戦死ス、
 因リテ此ニ葬ル、實ニ元弘
 二年也、衆其忠烈ヲ慕ヒ、

名ナ留リウ所所梅ウツ子シ命メイ室シ名ナ留リウ所所
 時ジジツシヤウチ知チ技キ片ヘ片ヘ
 子シ傳デン者モ上ウ台ダ台台
 有イ之シ傳デン者モ上ウ台ダ台台
 以ヨ歌カハハ上ウ台ダ台台
 句ク子シ乙ト

塚ヲ過ル者ハ、必花ヲ折
 リテ之ヲ薦ム、世號シテ折
 花塚ト曰フ、爾來殆ソト六
 百年、遺烈一郷ニ被ル、一
 郷ノ士、皆忠肝義膽、文久
 慶應ノ際、首トシテ大義ヲ
 唱フ、明治ノ中興、與リテ
 カアリ、朝廷之ヲ遇スル殊
 ニ厚シ、郷士咸相告ケテ曰、
 吾儕力ヲ王室ニ竭シテ、以
 テ此ニ至ル者ハ、皆若カ在
 天ノ靈其衷ヲ默屬スル有ル
 ヲ以テナリ、而ルニ今君ノ
 塚ヲシテ、亂草荒榛ノ裏ニ
 埋没セシメテ可ナランヤ、
 願ハクハ速ニ之ヲ表章シ、
 後世子孫ヲシテ共ニ朝廷ノ

○留守を頼む文

美名を以て守りて
 用ひて先刻に
 實又急病に付刻
 村に急電報を以て
 然るに今又急病に付刻

殊遇ノ由來スル所ヲ知ラシ
 メント、乃相與ニ碑ヲ立テ
 文ヲ勒シ、更ニ花ヲ折ル者
 ヲ無窮ニ待ツト云フ
 巖瀆樓記

丸山龍川

函嶺ノ温泉、凡ソ七、堂島
 最幽ナリ、堂島ノ樓、凡ソ
 五ニ居ル、巖瀆樓最好シ、
 二瀑アリ、一ヲ白絲瀑ト曰
 ヒ、一ヲ琴調瀑ト曰フ、樓
 前ノ溪流石ニ激シ、屈曲シ
 テ下ル、下ハ則巖瀆樓、
 風起ルニ及ヒテ捲曳披靡、
 波紋ノ如ク、羅毅ノ如シ、
 兩山ノ門、古松根ヲ露ハシ、
 水聲紆徐、楚々トシテ削壁

間在中一
 生事
 等
 後
 切
 他

ニ瀉ク者ハ白絲瀧ナリ、南
 ハ則懸岸、竹叢生シ、蒼翠
 滴ラント欲シ、白練一道、
 其間ニ懸ル者ハ、調琴瀑ナ
 リ、白絲ハ狀ヲ以テ名ケテ
 レ、調琴ハ韻ヲ以テ名ケテ
 ル、二瀑皆溪流ノ乱ス所ト
 爲リ、其聲ヲ辨スル能ハサ
 ルナリ、溪傍小丘アリ、石
 礎數級、之ニ俯スハ、僧疎
 石カ祠堂ナリ疎石ハ壽曆中
 ノ人ニシテ、所謂夢想國師
 ナリ、京師ノ相國寺ヲ擧ム
 ル者ニシテ、嘗テ法ヲ此ニ
 修ム、後人其徳ヲ慕ヒ、爲
 メニ祠堂ヲ建ツ、故ニ其地
 ヲ名ツケテ堂島ト曰フ、庚

○ 答
 昔は依教をうけし一

○ 答
 只是病狀其甚多子業六

○ 答
 只是病狀其甚多子業六

○ 答
 只是病狀其甚多子業六

○ 答
 只是病狀其甚多子業六

辰八月、余日下子葉ト函嶺
 ニ遊ヒ、此嶺ニ寓ス、一浴
 一泳、或ハ勝ヲ窮谷ニ探リ、
 跋渉委頓、一醉シテ臥ス、
 半夜夢覺メ、嶺頭月殘リ、
 萬籟悉ク歇ムハ、耳ヲ故テ、
 之ヲ聽ケハ、則瀑聲ヲ辨ス、
 瀟々々々、細大始メテ辨ス
 ヘシ、嗚呼余ハ信人ナリ、
 信ノ州タル四顧皆山ナリ、
 京ニ入ルニ及ヒテ、市廛熱
 鬧ノ間ニ住シ、故山ノ寸碧
 ヲ見ント欲スルモ、而モ得
 ベカラス、而シテ車馬ノ聲、
 絃索ノ響、晝夜歇マス、今
 此嶺ニ寓スルニ及ヒテ、故

○ 佛事ノ物を賜ふ
 相法之上精之海を以て留

○ 佛事ノ物を賜ふ
 守りて信お度

○ 佛事ノ物を賜ふ
 佛事ノ物を賜ふ

○ 佛事ノ物を賜ふ
 持破冷光院標一周

○ 佛事ノ物を賜ふ
 忘は苦切のり成中付世種

○ 佛事ノ物を賜ふ
 微別意のり成中付世種

人ニ遇ヒ、手ヲ握リ舊ヲ話
スルカ如ク、卷々トシテ去
ルニ忍ヒス、遂ニ之カ記ヲ
作ル

後園栽梅記
安井息軒

武岡ハ山海ノ中ニ處リ、其
地隱然トシテ起ル、四顧シ
テ眺ムレハ、凡ソ一州ノ勝、
皆坐ナガラニシテ收ムベ
シ、而ソ間曠閑寂ニシテ、
世ト阻隔ス、以テ書ヲ讀ミ
生ヲ養フニ於テ宜シキナ
リ、余其癡ニ家スルヲ五世
意甚々之ヲ樂ム、今茲夏、東
都ヨリ歸ル、事間ニノ氣暢
フ、乃チ益々後園ヲ拓キ、

以テ文納シユナフと申す事トシテ幸甚カウツシ

清閑キンゲンと云ふ

○ 答

先年セン立文バウ定意レイ可ビシ法ケツ指カウ

以レ信物クモツと云ふ事トシテ幸甚カウ

海シタ山イサ古カ野フ事シお喜イトナ

以レ付ツ想マツ来カ事コトと云ふ事トシテ幸甚カウ

進シン退タイ事コトと云ふ事トシテ幸甚カウ

本ホン懐クワイ事コトと云ふ事トシテ幸甚カウ

○ 謹言

○ 金キン子シ借シヤク用ヨウと云ふ事トシテ幸甚カウ

○ 日夜ニチヤ事コトと云ふ事トシテ幸甚カウ

棘ヲ誅シ穢ヲ除キ、鋤テ之
ヲ理メ、梅數十株ヲ栽エ、
以テニ息ノ處トナス、日ニ
其中ヲ涉リテニ遊シ、培植
ス、而シテ梅ノ欣々生動ス
ルヲハ、余ト期スル者アル
ガ若シ、意然之ヲ樂ム、噫
我ノ學ニ疎ナルヤ、外ニ七
年、五彩其目ヲ奪ヒ、八音
其耳ヲ奪ヒ、利祿聲譽其心
ヲ奪フ、是ノ時ニ當テ、自
カラ謂ラク、其遊ホタ期月
ナル能ハサルナリト、今我
カ樹ヲ觀ルニ、嚮ノ抱ナル
ハ拱トナリ、尺ナル者ハ丈
トナリ、凡テ園ノ物ハ、蓋
シ皆一變セリ、而ルニ吾カ

獲ル所ヲ省レハ有ナキナ
リ、草木ニシテ知ルアラハ、
我其レ以テ吾カ園ニ入ルベ
ケンヤ、今ヲ距ル一東游ノ
年ノ如クンハ、今ノ栽ユル
所ハ、亦以テ花サイテ實ノ
ルベシ、而シテ余ヤ學問致
々ヲラン一ハ、能ク梅ノ長
茂シテ止マザルガ若クナラ
ンカ、德音制行ノ汚穢スベ
カラサラン一ハ能ク其花ノ
潔清ナルガ若クナランカ若
節自カラ持セノ一ハ、能ク
其寒ニ發クカ若クナラン
カ、命ヲ安シテ天ヲ樂ミ、
諛媚ノ体ヲナサ、ラン一
ハ能ク其技ノ枯瘦勁拔ナル

借過りしは噂のりよき
新儀にお法燈り引取
草とお成の上就るは善當り
手汗の遊室をそよ感位
居るは影魔をさぐり
る圓るの拝借は度法

ガ若クナランカ、其或ハ、明
時ニ遭遇シ、其萬民ヲ調和
セン一ハ、能ク其實ノ義ニ
於ケルカ若クナランカ、果
シテ能ク此ノ如クンバ、我
ノ是ノ梅ニ於ケルヤ、以テ
愧ヅルナカルベシ、而シテ
園ノ樂タル益大ナリ、姑ク
記シテ以テ自カラ勉ム

○義犬記 笑作省吾

義犬名ハ駟、本巷ノ産ナリ、
前ノ高松侯ノ太夫人之ヲ愛
畜ス、天保某年夫人逝ク、
高松ニ歸葬シ、樞小石川ノ
邸ヲ出ツ、犬之ニ尾シテ去
ラス、更以テ不祥ト爲シ之

祈禱とては後刻に
お認め交はる者
百の言草は林茶
仰止自
○答
貴命は報りお付る方

ヲ透フ、又來ル、後之ヲ挫
ナ却カス、柩ヲ護送スル者
ノ如シ、途ニ高松ニ至ル、
歿既ニ畢テ、義犬肯テ墓ヲ
離レス、骨立竊伏、哀鳴歇
マズ、人之ヲ憫ミ、投スル
ニ魚肉ヲ以テスレハ食ハ
ス、喪ニ居ル者ノ如シ、衆
將ニ率キテ東都ニ歸ラント
ス、義犬隨ハス、強テ牽テ
圓龜港ニ至リ、船ニ上ス、義
犬乍チ嗥吠一聲、身ヲ躍ラ
シ海ニ没ス、衆遽ニ救フ、
既ニ及フナシ、吏感嘆之ヲ
俟ニ聞ス、俟亦之ヲ奇トシ、
命シテ之ヲ太夫人ノ墓側ニ
瘞メ、碑ヲ建テ、義犬之塚

ト曰フ、夢寢山人曰、犬ノ
畜ヤ厚ク養フト雖也、筋肉
一塊、殘飯一盃ニ過キサル
ノミ、而シテ之カ爲ニ命ヲ
致シ身ヲ顧ミテ、義ト謂フ
ヘシ、世ノ士大夫ト稱スル
者、身青袍ヲ着ケ、五味ニ
飽キ、而モ動モスレハ其主
遇ノ薄キヲ恨ミテ曰、吾亦
薄ク報スルモ可ナリト、是
何ソ商賈ノ直ヲ論シテ、物
ヲ鬻ク者ニ異ナランヤ、之
ノ義犬恩小ニシテ報大ナル
ニ視レハ、其心術タル果シ
テ如何ソヤ

魚ヲ養フ記

安積良齋

小只今更拂後至口口口
一吋彫通後至口口口
時口口口口口口口口
持口口口口口口口口
口口口口口口口口口口

口口口口口口口口

○ 屈書を依頼す

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口

庭中ニ滄池アリ、方僅ニ二三丈、荒廢スルコト久シ、已亥ノ夏、之ヲ浚フテ深カラシメ、之ヲ疏シテ通セシメ、矮樹ヲ岸ニ植ヘ、又隣池ノ委ヲ引キテ以テ之ニ注ク、風アレハ則細波殺ノ如ク、風ナケレハ則平澗鏡ノ如ク、天光雲影、其上ニ往來ス、而シテ泉ノ聲、潺々然タリ、毎夜更深ケ人靜カナルキ、塵以テ雨ノ至ルト爲ス也、因テ童ニ命ジテ、小魚數十頭ヲ買フテ之ヲ養フ、鬻ヲ張リ尾ヲ掉ヒ、或ハ遊ヒ或ハ潛ミ、洋々焉ト

シテ江湖ニ相樂ムカ如シ、予亦觀テ之ヲ樂ム、因テ感ス、夫レ魚ハ頑冥無知ノ物也、惟其レ無知、故ニ慾ニ動カサレス、之ヲ圍スルモ勺水ヲ以テシテ悲シマス、之ヲ放ツニ江海ヲ以テシテ喜ハス、一遊一泳、外ヲ願ハス、能ク天ヲ樂ム者也、蓋天ノ萬物ヲ生スル、各大小アリ、小ノ大タルベカラサルハ、猶大ノ小タルベカラサル如シ、小者必スシモ大ヲ羨マス、大者必シモ小ヲ凌カス、各其禀クル所ヲ全フシ、共遇フ所ニ安ンス、此ヲ天ヲ樂ムト謂フ、而シ

此付甚品人少小尖君
 出頭之序別紙
 下度且係員より
 事小くは
 以各難
 山定まは依頼

以度有

○答

快
 疎
 免角不順

テ人ハ物ノ靈ナリ、乃深整ノ懲ヲ選フセント欲シ、固ニ威々タルガ如キハ何ッ

(論門)

中臣鎌足論

阪井虎山

世稱ス鎌足周孔ノ道ヲ南淵先生ニ學フト、蓋シ託言シテ以テ入鹿ヲ圖ルノミ、實ニ周孔ノ道ヲ學フニ非サルナリ、余以爲ラク凡言ヲ託スル者、亦必其實有リテ而シテ後ニ以テ其名ヲ託ス可シ、而シテ人始メテ疑ハス、石錯ノ州吁ヲ謀ルヤ、致仕ニ託シ、劉裕ノ桓玄ヲ圖ル

ヤ遊獵ニ託ス、蓋石錯ハ實ニ老イ而シテ劉祝ハ本ト獵ヲ好メバナリ、鎌足ノ周孔ノ道ヲ學フ、亦豈徒ニ其名ヲ託スト云ハンヤ、我レ其入鹿ヲ誅スルヲ觀ル、大義至忠、天下ニ暴白スル者、固ヨリ已ニ周孔ノ道ニ合フ、而シテ密ニ秘計、亦施シテ其宜シキヲ得、縱令周孔之ヲ處スルモ、亦此ノ如キニ過キサルノミ、蓋其平素存スル所、周孔ノ道ニ得ル有リ、故ニ大事ニ臨テ發スル所此ノ如シ、其後天智帝ヲ佐ケ、學校ヲ興シ、律令ヲ制シ、以テ王室ノ盛

梅香セツヤウも新公イノリは居玉トモタマシヨを極タシテ

善サシイダ出トホて歸タク室ゴ後

早タビナ見ミ命マヒ下シて

美酒キシウ

○ 旅リヨカウを報ハクす

春シニン暖ダンお催モヨフしと交トヨロは清セイ

原カウも笑ガシみ儲サテ当タク春ハルを豫カ子

ては話ハナしと去ナるは親シン

族ゾクを乃タツおがら目チ地ハウ方チ

名メイ所シヨ旧キウ蹟ウセキを山ジニン出ランは度

明メウ及ゴの出ニテ度シユツはパツ以ツイ就テる

若ナ地ハウ方ヨウは用ムキ命シヤウを商

ヲ基ス、我邦文物風化ヲ
テ直チニ漢唐ニ軼キ、隆ヲ
三代ニ比セシム、皆鎌足ノ
功ナリ、其盡ク周孔ノ教ノ
如クナラサル者ハ、時運然
リト爲ス、蓋シ夏ノ禮ハ殷
ニ至リテ備ハリ、殷ノ禮又
周ニ至リテ備ハル、制度文
物、固ヨリ一世ノ能ク定ム
ル所ニ非ス、況ヤ我邦草創、
未靖カラサルノ時ニ在テ、
備ハルヲ一人ニ責ム可キニ
非サル也、之ヲ要スルニ、天
下艾安、四方虞無ク、天子
垂拱シテ民之レニ頼ル、是
豈周孔ノ道ノ實ニ非ラス哉
、古ヨリ大功ヲ立ツル者、

業園を除くは如何なる
以申裁と云及思儀を
伊トマゴヒ カタド
少明を主官口部を
帰定上後河原を
了明陳お海
○ 卷

多クハ其終ヲ克クスル能ハ
ス、故ニ曰ク、功ノ難キニ
非ズ功ヲ保ツ是レ難シト、
今鎌足既ニ不世ノ勳アリ、
而シテ天智モ亦坦懐忌マサ
ルノ主ニ非ス、其石川麻呂
ヲ誅スル、親ル可キノミ、
而シテ鎌足能功名ヲ以テ終
始シ、毫髮ノ嫌隙アルヲ見
ス、周孔ノ道ヲ得ルニ非ス
ンハ、豈能ク此ニ至ランヤ、
然レハ鎌足未嘗テ一言モ周
公孔子ヲ稱述セズ、既ニ其
實ヲ得ハ、必シモ其名ヲ事
トセス、亦所謂至道ハ言無
キ者ニ非スヤ、後世ノ君子、
治ヲ談スレハ、必周公ヲ言

豫は合望は旅川酒
以思立は中坐は手候は
極官友台候はは快
とに次は事は別段は
頼は度儀は量は之は
親中は中は世は物は
シ
ル
キ
デ
ウ
ハ
カ
リ
チ
カ
ラ

ハ、教ヲ論スレハ、必ス孔子
ヲ言フ、其爲ス所ノ實ニ至
リテハ、則未嘗テ一モ周公
ノ道ニ遵ハス、王安石ノ輩
是レノミ、安石ノ鎌足ト、固
ヨリ同日ノ語ニアラス、其
才ノ如キモ則亦大ニ人ニ過
キタル者アリ、而ルニ其失
フ所以ノ者ハ、徒ニ其名ヲ
好ミテ、其實ヲ好ム能ハサ
レハナリ、蓋後世人心日ニ
卑ク、能ク道ヲ以テ自ラ任
スル者有ル無シ、名ハ周孔
ニ託スト雖也、其心未嘗テ
其實ヲ以テ今ニ行フ可シト
爲サ、ルナリ、今鎌足周孔
ノ道ヲ學テ、而シテ其成功

ノ偉ナル此ノ如ク、周孔ノ
道ヲシテ、虚器空文タラサ
ラシム、是ニ由テ之ヲ觀レ
ハ、鎌足ノ周孔ノ道ヲ學ブ
ハ、託言ニアラス、實ナリ
詩文廢スヘカラサル論
清水龍山
一日容アリ予ニ謂テ曰ク、
詩文廢スヘキカ、曰ク廢ス
ヘカラサルナリ、凡ソ宇宙
ノ万象、一トシテ詩文ナラ
サルハナシ、日月星辰ハ、
天ノ文ナリ、鳥獸草木ハ、地
ノ文ナリ、雲霧龍々ハ、山
ノ文ナリ、波濤湯々ハ、海
ノ文ナリ、人豈ニ獨文無ラ
ン乎、夫レ詩文ハ人心ノ物

後學ノ言及之他日地
方之名物海山は持歸
ふ度事ハ空座カ
○人を紹介す
南唐周山縣之人於本
生の法に成る後東に於て

首名を問き拜
親友度言を下拙に紹介
依於...
善言...
難く失禮...
以て紹介...

ニ感シテ、言ニ形ハル、モ
ノナリ、昔孔聖詩文ノ正邪
相濬ル、ヲ患ヒ、邪ヲ剛リ
テ正ニ就キ以テ後世ニ傳
ヘ、万世灑滅セス、若シ夫
レ近体ノ詩文ハ、格變シ調
易リ、以テ疲賤糊塗ヲ行フ
ニ足ラスト雖也、諸ヲ仁義
ノ正道ニ導キ、世事ノ得失、
人倫ノ正邪、古今成敗ノ跡
ヲ論シ、人ヲシテ感奮激昂、
興起スル所アラシムルモ
ノ、未ダ嘗テ詩文ニ由ラス
ンハアラス、然レハ則チ其
ノ世教ヲ益スルモノ決シテ
鮮少ニアラザルナリ、苟モ
世教ニ益アレハ則之ヲ經國

ノ大業不朽ノ盛事ト謂フ、
豈不可ナラン哉、詩文廢ス
可ヲサルナリ、客亦難シテ
曰ク、方今詩文ノ風、大ニ
浮華ヲ貴ヒ、花街柳巷ノ談
ニアラザレハ、則遊戯猥瑣
ノ事、而シテ所謂性情ニ本
ツキ、以テ陽春白雪、江山
楓月ヲ賦スルモノニ非サル
ナリ、或ハ之ヲ賦スルモ、
唯古人ノ陳語ヲ拾收スルニ
過キス、是レ其糟粕ヲ嘗ム
ル者ノミ、之ヲ廢スル何ノ
不可アラン、余曰ク、嗚呼
是レ何ノ言ソ、夫レ聖人千
古ノ上ニ在リ、我輩百世ノ
下ニ在ル、蓋シ均一ノ事ナリ、

まゝに口面會下成令
氏ノ實業ヲ執心家カ
今田視察ヲ為當務トハ
巡遊ヲ後トシテ百唐口面
識ヲ申リテ實業上彼家
利益ニ成リテハハシカ

石村生
後山号見
器具
石村生

○ 春

聖人ハ我ニ先シテ之ヲ用ヒ、我輩ハ聖人ニ後レテ之ヲ用フ、而シテ凡ソ詩文必ス助字法アリ、虚字法アリ、古人ノ精粕ト謂フト雖也、就テ用ヒサル可サルモノアリ、或ハ古人ノ字句ニ同シキヲ恐ル、カ爲ニ、避ケテ之ヲ用非サルハ、余窃ニ疑フ不通語アリ、若シ果シテ古人ノ字句同シキヲ恐ル、ガ爲ニ、避ケテ之ヲ用非サラン乎、千歳ノ久シキ終ニ一字ノ用フベキ者ナキニ至ル、是ノ如クシテ已マサレハ則堯舜禹湯文武周公孔子ノ道、何ニ由リテ其端倪ヲ

淑蘭シフケンと香キ草セツはタ花ハ也ヤ
中チウ堂タウはホ今イマノノ殿テン也ヤ
遊ユウはチン客カクはセウ命メイ也ヤ
謝シヤンはカウ身メイはヒサン
傳デンはケイ言ガイはヒツ
度タクはフシ也ヤ

知ルヲ得ンヤ、子ノ言ノ如キハ、亦オホク味アジ蘇ソ思シノ語ノミ、若シ韓柳李杜ヲシテ再ヒ世ニ出シメバ、恐ラクハ双耳ヲ掩フテ走ラン、是レ余カ敢テ取ラサル所以ナリ、客唯々トシテ退ク

豊太閤論

貴山延子

天下強弱無キ能ハス、國家盛衰無キ能ハス、而シテ英雄豪傑ノ、將ニ大ニ積衰積弱ノ餘ニ爲スアランドスルヤ、必ス踔厲風發、天下ノ耳目ヲ一新シ、然ル後能ク、衰弱ヲ變シテ強盛ト爲ス、之ヲ暴雷猛雨、飄忽震蕩シ、

捧ハイ龍リウをホシ得トク本ホン懐グワイをホシ玉ギョクをホシ握クワク
實シツ一イツ見ケン日ニツ識シキをゴト終シウ日ジツ
胸キヤウ襟キンをヒラ披ヒラきダン漢カン笑セウはセウはセウ
恨ウラミはソシハラウ尊ソウをドウ尤ユウをセキ以ドウ回セキ席セキ
をユ以クワイはクワイ怡クワイ快クワイをトモ喜トモよトモ喜トモをトモ
甲コト車シャはツシ法フシはツシ權ケンをクフ答コタ沙シャ

萬物殆ント之カ爲ニ摧碎
 ス、然ル後チ天地開闢、日
 月新ナルカ如キニ譬フ、故
 ニ英雄ノ事業ハ、常理ヲ以
 テ論スベカラサルナリ、我
 神國管テ強シ、殊域ヲ
 朝貢相屬ス、而シテ彼レ一
 ヒ叛ケハ則王師出征ス、故
 ニ神后征韓ノ後、應神ノ朝
 ニ在テハ則一タヒ新羅ヲ伐
 ナ、雄略ノ朝ニ在テハ則一
 タヒ新羅ヲ伐チ二タヒ高麗
 ヲ伐ツ欽明ノ朝ニ在テハ則
 二タヒ新羅ヲ伐チ、一タヒ
 高麗ヲ伐ツ、推古ノ朝ニ在
 テハ、則一タヒ新羅ヲ伐チ、
 齊明ノ朝ニ在テハ、則一タ

す

○ 金子を返す

拜皇太后之教、皇太后
 儀、皇太后之教、皇太后
 融、皇太后之教、皇太后
 速、皇太后之教、皇太后

ヒ肅慎ヲ伐ツ、是時ニ當テ、
 絶域ヲ視ル四境ノ如シ、海
 濤ヲ視ル坦途ノ如シ、故ニ
 兵ヲ四方ニ徵シ、萬里海ヲ
 濟ルモ、而モ天下以テ勞ト
 爲サス、其強盛ナル蓋此ノ
 如シ、中古以降、王室稍衰
 ヘ、一變シテ天下ノ政相門
 ニ出テ、再變シテ兵馬ノ權
 武人ニ歸ス、四海ノ内、猶
 ホ皇威ヲ畏レサル者アリ、
 何ソ海外ヲ問ハソ、鬼界ハ
 一小島ノミ、源右將之ヲ伐
 ント欲シテ公卿之ヲ難ソ
 ス、夫レ彈丸黒子ノ地ヲ以
 テ、武人之ヲ伐タント欲ス、
 然ルニ廷議之ヲ難シトス、

皇太后之教、皇太后
 皇太后之教、皇太后
 皇太后之教、皇太后
 皇太后之教、皇太后

又何ソ武人ノ跋扈ヲ恠マン
ヤ、其衰弱蓋此ノ如シ、源
氏亡ヒテ王室北條ニ困メラ
レ、北條亡ヒテ又足利ニ制
セラル是ニ於テ積衰積弱勝
テ言フ可ラザル者アリ、南
北一統シテ足利氏ノ横日ニ
甚シ、彼レ傲然以爲ラク、
天子ハ我家ノ立ツル所、廢
立ハ唯々吾カ欲スル所、則
其有無固ヨリ之カ輕重ヲ爲
スニ足ラス、而シテ明國ノ
大、彼亦嘗テ之ヲ聞ク、乃
チ謂フ、彼土廣ク國富ミ、
我既ニ及ス能ハス、則其力
ニ藉リテ以テ我カ貧弱ヲ濟
フ、此亦良策ナリ、是ニ於

少禮ノ述ハ布ノ所

○答

以用之置身金具はなす

ト正ノ前書子付ノ利息

及び了るる定口ノ寧ろ

痛入ハ上ノ美亞麻

テ使ヲ明ニ修メ、其爵號ヲ
得、以テ天下ニ誇ル、其錢
貨ヲ得、以テ天下ニ布ク、
吁亦甚シ、是時ニ當リテ、
明國我ヲ視ル、猶ホ藩國ノ
ゴトク、足利氏明王ヲ視ル、
猶ホ君上ノコトシ、而シテ
天朝ノ尊ハ、則天下敢テ復
々問ハス、衰弱ノ極此ニ至
ル、祖宗ノ憤、固ヨリ將ニ
待ツ所アツテ發セントス、
故ニ織田右府興テ、天下復
々王室ヲ尊リテ知リ、豊太
閔興テ、王室ノ尊殆ント古
ニ復ス、征韓ノ一役ニ至テ、
蓋シ將ニ皇威ヲ積衰積弱ノ
餘ニ震ハントス、祖宗ノ靈

菓子占百惠贈

天ホくまはるる及口ノ用

元江屋ノ好るる口配

有合せり昔がく何時

使團

お復

實ニ頼ルアリ、願フニ其之ヲ謀ル所以ノ者ハ、未タ必シモ私意無クンハアラス、然リ而シテ天ノ將ニ皇威ヲ一振セントスル則太閤ノ舉、天下ノ公ニ非スト謂フ可カラサルナリ、十萬ノ師、一タヒ海ヲ渡リテ八道瓦解ス神國ノ威ヲ伸ベスト謂フ可カラサルナリ、而シテ明主猶王號ヲ以テ兵ヲ解カント欲ス、此亦足利氏ヲ以テ太閤ヲ視ルナリ、而シテ太閤一タヒ怒リテ、明國震駭ス、祖宗ノ耻ヲ雪カスト謂フ可ラサルナリ、皇威是ニ於テカ赫然絶域ニ震フ、異日愛

○物借

漢昭帝を昭白を遠方公
 未定目之接納を津儀
 善子行定當善子善子相
 應之怒幅所有之波是
 當或任就之何也申

親覺羅氏ノ明國ヲ并吞スル、威毒モ亦甚シ、彼豈我ニ垂涎セサランヤ、然ルニ畏手ヲ歛メテ、敢テ噬臍セサルハ太閤ノ力ナリ、孰カ征韓ノ一役、神國ニ功無しト謂ンヤ

(説門)

硯説

仙椿堂

古ニ云フ、玉磨カサレハ則光ナシ、光ナキヲ以テ石瓦ト爲ス、人學ハサレハ則智無シ、智ナキハ禽獸ト爲ス、今余カ硯、是レ石ナリ、敢テ光ヲ放タスト雖也、豈ニ之ヲ輕ニス可ケンヤ、常ニ

上善之人也口祕藏之申
 何ぞよ一神借用仕度決
 之輕明之百扱之百友
 借用後之口之納之口
 口許之口之口之口及備
 口之口之口之口之口

筆墨ヲ使役セシメ、花香ヲ
詩苑ニ流シ、月影ヲ文壇ニ
留ム、硯ノ德豈ニ玉ニ勝ラ
サランヤ、海アリテ船筏ヲ
浮フニ宜シク、丘アリテ車
馬ヲ馳スヘシ、縱横寸尺ノ
間、船筏車馬ヲ自由自在ニ
奔走セシム、硯ノ妙豈ニ維
摩方丈ニ勝ラサランヤ、荷
モ一滴水ヲ施セハ、忽チ風
雲ヲ起シ、雷霆ヲ轟シ、高
天廣地ヲ震動セシムルニ至
ル、硯ノ變化、豈ニ龍ニ勝ラ
スヤ、然リ而シテ性質堅剛、
沈靜寡黙、壽命又自ラ長シ、
余嘗テ聞ク、硯ハ研ナリ、
千琢万磨、以テ達スルヲ得、

○ 硯

貴命如流水之可裁
石如雲以雜物之可間
合以一身之學未嘗不
矣本之深以操幽若之山
水畫及び廣澤若之廣

余故ニ奮起シテ曰ク、人瓦
石ニアラス、又禽獸ニアラ
ス、則學シテ智ヲ發シ、德
ヲ修メ、然ル後事ヲ天下ニ
成シ、名ヲ後世ニ輝ス、豈
ニ一硯石ニ勝ラサル可ケン
ヤ、感アリ、遂ニ硯説ヲ爲
ル

爲學説

尾藤二州

君子ノ學ヲ爲スヤ、以テ人
ノ義ヲ明ニシント欲スルナ
リ、何ヲカ人ノ義ト謂フ、
父子親アルナリ、君臣義ア
ルナリ、夫婦別アルナリ、長
幼序アルナリ、朋友信アル
ナリ、是ヲ天下ノ大經ト謂

清如水操
下以は外
以用之
酌形仰越
向
○ 馳
走
預
禮

フ、人ノ義タル所以ノ者起
ノミ、荷モ之ヲ明ニセント
欲スル乎、諸ヲ聖賢ノ訓ニ
求メサルベカラス、聖賢ノ
訓、布テ方策ニ在リ、四子
六經洛陽ノ書ニ論ナク、即
チ漢唐諸註ノ註タル、元明
諸説ノ説タル、旁ヲ馬班ノ
諸史、董韓ノ諸家ニ遡テマ
テ、森然トシテ備リ、巍然
トシテ存セリ、而シテ其之
ヲ讀ムヤ、亦各々次第アリ、
純醇辨ナク、雅鄭并ニ奏ス
可カラス、亦須ラク採擇ス
ル所アルベシ、之ヲ讀ムノ
方、宜シク奈何スヘキ、朱
子曰ク、讀書ノ法ハ、序ニ

循フテ精ヲ致スヨリ貴キハ
ナシ、而シテ精ヲ致スノ本
ハ、則又敬ニ居テ志ヲ持ス
ルニ在リ、蓋シ序ニ循ツテ
精ヲ致サ、レハ、則涉ル所
廣シト雖也、歷ル所博シト
雖也、亦汗漫而已、紛錯而
已、何ッ得テ之ヲ明ニスル
ヲ得ンヤ、夫レ記問ノ學ハ、
以テ人ノ師タルニ足ラス、
戴記以テ其得ルナキヲ譏ル
ナリ、故ニ君子ノ學ヲ爲ス
ヤ卑キヨリシテ高ク、邇キ
ヨリシテ遠ク、此ニ盈ナテ
彼レニ進ミ、優シテ之ヲ遊
シ、涵シテ之ニ泳シ怡然ト
シテ以テ自得スル有リ、而

昨日^{サク}月^{ツツ}人^{ヒサ}今^{サン}を^{シヤウ}身^{シヤウ}上^{シヤウ}付^{シヤウ}法^{シヤウ}
空^{トコロ}存^{ゾン}お^{グワイ}い^{グワイ}口^{カウ}口^{グウ}子^チ思^{サウ}を^{タマハ}賜^{タマハ}り
山海^{カク}の^{チン}味^ミは^チ味^{サウ}を^{サウ}い^{サウ}ま^{サウ}
深^{シン}謝^{シヤ}の^{コト}味^{チヤウ}は^ザ長^{チヤウ}計^ザの^シ上^シ傷^シ
い^ガ思^{ダン}復^{サズ}味^{メイ}は^{ウク}味^{ウク}を^{ウク}い^{ウク}ま^{ウク}
家^{サツ}の^{ケイ}鶏^{ニク}回^{セウ}少^{シツ}く^{レイ}去^{シツ}禮^{レイ}を^{シツ}い^{レイ}ま^{レイ}
○ 答

厨^{チウ}下^カ二^テ三^イを^{セウ}い^シま^シ味^シを^シい^シま^シ
本^{ホン}情^{クワイ}を^{クワイ}い^{クワイ}ま^{クワイ}味^{クワイ}を^{クワイ}い^{クワイ}ま^{クワイ}
禮^{レイ}の^{レイ}味^{レイ}は^{レイ}味^{レイ}を^{レイ}い^{レイ}ま^{レイ}
○ 答
貴^キ腹^{トク}を^{ハイ}洗^{ラン}は^{サク}味^{サク}を^{サク}い^{サク}ま^{サク}
振^{ブリ}り^{ユウ}口^{ライ}遊^{ライ}味^{ライ}を^{ライ}い^{ライ}ま^{ライ}
何^{トコロ}

シテ後ニ愉快トス、然レモ
其精ヲ致サンヲ欲シテ、敬
ニ居リ志ヲ持スルヲ知ラ
サレハ、則所謂卷ヲ釋テ茫
然タル者、亦何ソ得テ之ヲ
明ニスル所アラン哉、夫子
曰ク、操レハ則存シ、舍レ
ハ則亡ス、出入時ナク、其
脚ヲ知ル莫キハ、惟心ヲ謂
哉、大學ニ曰ク、心焉ニア
ラサレハ、視テ見ヘス、聽
テ聞ヘス、食テ其味ヲ知ラ
ス、故ニ操テ之ヲ存シ、心
ヲシテ常ニ在ラシメ、然ル
後乃チ始メテ以テ夫ノ精ヲ
致スニキナリ、學者誠ニ能
ク斯ニ從事セハ、則人ノ義

ナル者、其レ亦以テ之ヲ明
ニスルアルニナカ、ランカ
爾微説
林 容 舟
叢中花アリ、薔薇ト曰フ、
其樹蔓ニアラス、其花濃紅
アリ、淡白アリ、露ニ啼キ、
風ニ笑フ、其香馥郁、以テ
愛翫スヘシ、昔者武帝麗娟
ト花ヲ看ル、適々薔薇ノ始
メテ開クニ會フ、其態笑ヲ
含ムカ如シ、帝ノ曰ク、此
花絶佳、人ノ笑フニ勝ルナ
リ、麗娟之ニ戲テ曰ク、笑
ヒ買フ可キ乎、帝曰買フ可
キナリ、麗娟遂ニ黄金百斤
ヲ奏シ、買笑錢ト爲ス、然

昔は風情もあつた

殺風景もあつた

然るに過当は謝辭及

佳者も賜りた

痛ふやまの味は

何れも愉快をおぼ

は情をけり

○物を贈る

天候漸くおぼろしく

爽快をおぼる

里より音信もあつた

親族何れも喜ぶ

リト雖也、後人齋薇花ヲ遊
 スル者少シ、何ッヤ、此花
 ハ則笑中毒刺ヲ藏ス、故ニ
 之ニ觸ルレハ則蜂虻ノ毒尾
 ニ當ルカ如ク、其毒蓋シ少
 ナカラサルナリ、嗚呼世ノ
 佳人ニ於ケルモ亦然リ、一
 宵千金ヲ擲チ、而シテ彼ノ一
 笑ヲ買フ、則國ヲ傾ケ城ヲ
 傾ケ家ヲ失ヒ身ヲ亡スノ憂
 フ免レス、此口ニ甘蜜アリ、
 心ニ銳刺アルノ故ヲ以テナ
 リ、豈ニ恐懼セサル可ンヤ、
 乃チ齋薇ノ説ヲ作ル
 善ヲ爲スハ最モ樂シキ説
 佐藤一齊

昔者一居士、家小室、其
 傳言曰、例國產其
 今ハ當地ニ澤山有リ
 片一之、其到者、
 少ニ目ヲ掛ケ、先ニ
 事、

吾其耳ヲ聳スルヲ見ルナ
 リ、綵綺文、果シテ樂シキ
 乎、吾其目ヲ盲スルヲ見ル
 ナリ、膏梁旨甘、果シテ樂
 シシ乎、吾其口ヲ爽スルヲ
 見ルナリ、酒ハ其腸ヲ爛カ
 シ而シテ色ハ其性ヲ伐ル、
 狗馬弋獵ハ、其氣ヲ暴ニシ、
 宮室臺榭ハ、其体ヲ惰ラシ
 ム、凡ソ人ノ趨テ以テ樂シ
 ト爲ス所ノ者ハ、吾意未ダ
 其樂ミタルヲ見サルナリ、
 善ヲ爲スノ樂ミタルニ至テ
 ハ、則此ニ異ナリ、子ト爲
 リテ孝、其力ヲ竭シテ而シ
 テ其心ヲ勞シ、臣トナリテ
 忠、其身ヲ致シテ而シテ其

○ 若
 貴賤お海如く、
 一雨もあまの雨に
 潮里より、
 有き河、
 沙汰は、

精ヲ勵マス、凡ソ其善ヲ爲
ス所以ノ者ハ殆ント其苦ム
可キヲ見テ、而モ未タ其樂
ミタル者ヲ見サルナリ、然
リ而シテ親ニ孝ナレハ、則
親樂シミ、君ニ忠ナレハ則
君樂ム、諸ヲ家ニ推セハ則
家樂ミ、諸ヲ國ニ施セハ則
國樂ム、諸ヲ天下ニ措ケハ、
則天下樂ム、夫レ天下皆樂
ム、我何ソ獨樂マサラン、
蓋然トシテ其レ春煦ノ如
ク、煥然トシテ其レ暖暉ノ
若ク、熙々然トシテ其レ百
鳥和シテ群芳敷クカ若ケ
ン、嗚呼是皆善ヲ爲スノ推
ナリ、而シテ其樂ミタル果

ヨロシク
臣友は後聲も
國らから珍物口恵に被下
謝は恩文に大好物で
飛常、軟び居の為拜
顔も言はは其禮に
多味は拜

シテ如何ノ哉、東平王蒼人
ニ語リ曰、善ヲ爲ス最モ樂
シト、其此ニ見ルアルニ庶
カラン歟

(傳門)

村山佛山傳

蒲生 斐亭

豐前佛山ノ北村アリ稗田ト
曰フ民戶落々岡ヲ負ヒ流ヲ
帶フ白沙翠竹曲堤長橋野花
幽草素辭秋霞宛然錦里網川
ノ勝ト云フ、詩人アリ、村
山佛山ト曰名ハ剛、字ハ大
有、人ト爲リ温厚和平詩ヲ
嗜ム命ノ如シ、一稿成ル毎
ニ必ス之ヲ机上ニ置キ、朝
暮之ヲ再拜ス、家人門生笑

○ 産人を借了
甫啓時今業務非常
繁忙を極めたりお栢生悟
し職を中し病者なり
就業お成らざる者あり
るは清員之事業

且嘲ルモ皆ミザルナリ、幼時筑前ニ遊ヒ龜井昭陽ニ學フ、既ニシテ京師ニ遊フ諸名流ト周旋ス、詩名稍著ハル、後足疾ヲ病ヒ、帷ヲ稱田村ニ下ス、弟子遠方ヨリ來リ學者甚多シ、身村里ヲ出テス而シテ詩名已ニ海内ヲ蓋フ、平生喜ヒテ白蘇ニ集ヲ讀ム、故ニ其詩温厚ニシテ奇恣縱橫自在、凡天下ノ事物巨細詩ニ入ラサル莫レ、曲ニ其妙ヲ盡ス、其伊呂波歌ノ如キ尤奇構ナリ、前輩蘇子石鼓歌ニ似タリト稱ス、洵ニ然リ、其中庸講後家累ヲ拉シ、和歌岡ニ遊

停滯後一甚之難証江仕
居ハ就テ其何事ト上義
一其甚之家ハ其後ノ中而
三人ハ縁合ト爲四音間
持備信及ハ許容ト
け大幸ト或ハ其産候

フ、一律頗ハ白傳ニ似タリ、其詩ニ云フ、樂ニ爾妻等一載酒遊、自卑徐歩到ニ高邱、松根掘レ石強哉矯、樵唱入レ雲和不流、貧賤從來天所賦、從容今日無レ憂、爲飛魚躍妙機在、笑見乾坤悠遠秋、明治十二年佛山年七十壽筵ヲ其郷ニ開ク、期ニ先ナ遍ク詩ノ雪月花ニ係ル者ヲ海内諸名流ニ徵ス、余亦與ル、乃チ序一篇ヲ贈シ副フルニ新著近世偉人傳第二編ヲ以テス、編中隱君子星巖及ヒ白賁子傳アルナリ其序文大意ニ曰星翁ノ仙風道骨、白賁子ノ素璞白趣、

石以願と云は其産候
○ 卷
之紙面ニ起テ其水信
其業は其心ハ其業
之其産候今其後
人物ハ其技藝ハ其